本文

官報

昭和十年二月八日
第二千四百二十九號 金曜日

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

勅令

朕獸醫師會令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十年二月七日

内閣總理大臣 岡田啓介
農林大臣 山崎達之輔

勅令第十三號

獸醫師會令中左ノ通改正ス

第十六條及第十七條第三項中「其ノ議員」ヲ「道府縣獸醫師會ノ會員」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和二年（四月九日公布）勅令第七十五號獸醫師會令抄錄

第十六條 道府縣獸醫師會ノ役員ハ其ノ會員中ヨリ、日本獸醫師會ノ役員ハ其ノ議員中ヨリ各其ノ總會ニ於テ之ヲ選任スベシ

第十七條第三項

會長及會長ノ職務ヲ代理スル者故障アルトキハ主務官廳ハ道府縣獸醫師會ニ在リテハ其ノ會員中ヨリ、日本獸醫師會ニ在リテハ其ノ議員中ヨリ假役員ヲ定メ臨時會務ヲ處理セシムルコトヲ得

省令

◎司法省令第二號

武生水區裁判所香椎出張所ヲ武生水區裁判所勝本出張所ト改稱ス

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年二月八日

司法大臣 小原直

◎司法省令第三號

大正二年司法省令第十一號中左ノ通改正ス

別表登記管轄區域表中武生水區裁判所ノ部香椎出張所ノ項ヲ左ノ如ク改ム

勝本	長崎縣ノ内 壹岐郡ノ内 勝本町 鯨伏村 箱崎村

附則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年二月八日

司法大臣 小原直

◎拓務省令第一號

證券ヲ以テ歳入納付方ノ件左ノ通定ム

昭和十年二月八日

拓務大臣 伯爵 兒玉秀雄

證券ヲ以テ歳入納付方ノ件

拓務省主管ノ歳入ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外證券ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

府令

◎朝鮮總督府令第百三十一號

朝鮮自動車取締規則左ノ通定ム

昭和九年十二月二十九日

朝鮮總督 宇垣一成

朝鮮自動車取締規則

第一章 總則

第一條 本令ハ道路ニ於テ運轉スル自動車ニ之ヲ適用ス

前項ニ於テ道路ト稱スルハ一般ノ道路、自動車道其ノ他一般通行ノ用ニ供スル通路ヲ謂ヒ自動車ト稱スルハ原動機ヲ用ヒ軌條ニ依ラズシテ運轉スル車輛ヲ謂フ

第二條 自動車ヲ分チテ普通自動車、特殊自動車及小型自動車ノ三種トス

前項ニ於テ普通自動車ト稱スルハ內燃原動機、差動裝置及前車軸ノ兩車輪ニ依ル操向裝置ヲ具備シ主トシテ人又ハ貨物ヲ運搬スル構造ヲ有スル車輛重量（燃料油槽、燃料槽、潤滑油槽、冷却水槽其ノ他之ニ類スル容器ヲ充滿シタル狀態ニ於ケル自動車ノ重量以下之ニ同ジ）三百六十瓩以上ノ自動車ニシテ小型自動車ニ非ザルモノヲ謂ヒ特殊自動車ト稱スルハ普通自動車又ハ小型自動車ニ非ザル自動車ヲ謂ヒ小型自動車ト稱スルハ左ノ制限ヲ超エザル自動車ヲ謂フ

一 車輛ノ長サ二・八米、幅一・二米、高サ一・八米

二 內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筩容積ノ合計七百五十立方糎、二行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筩容積ノ合計五百立方糎

三 電動機ヲ原動機トスルモノニ在リテハ一時間定格出力四・五キロワット

牽引自動車（牽引裝置其ノ他重荷物ノ牽引ニ適スル特殊ノ構造裝置ヲ有スル自動車以下之ニ同ジ）ハ之ヲ特殊自動車ト看做ス

第三條 自動車ノ使用主法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シ其ノ他道知事ニ於テ取締上必要アリト認ムルトキハ自動車ノ使用ヲ禁止又ハ停止シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 本令ニ依リ道知事ニ提出スベキ書類ハ自動車運輸事業者及自動車運送事業者ニ在リテハ主タル營業所ノ所在地、其ノ他ノ者ニ在リテハ住所地（法人ナル場合ハ主タル事務所ノ所在地）ヲ管轄スル警察署長ヲ經由スベシ但シ假運轉免許ニ關スル書類ハ申請者ノ居所地又ハ滯在地ヲ管轄スル警察署長ヲ經由スベシ

第二章 車輛ノ構造裝置

第五號 車輛ハ長サ七・五米、幅二・二米、高サ三米ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 車輛ハ適度ノ安定ヲ有スル構造タルコトヲ要ス

第七條 車輛ノ最短廻轉半徑ハ最外側ノ轍ニ就キ測リ十一米以內タルコトヲ要ス

第八條 蒸氣、瓦斯、油其ノ他ノ爆發性又ハ可燃性ノモノヲ容ルベキ器、管及氣筩、電氣裝置等ハ堅牢ニシテ漏洩又ハ危險ノ虞ナキモノタルコトヲ要ス

第九條 車輛ハ運轉ニ際シ甚シキ騷音ヲ發セズ且惡臭又ハ有害ノ瓦斯又ハ煤煙ヲ多量ニ發散セザル構造ニシテ排出瓦斯又ハ煤煙ノ車室內ニ侵入セザルモノタルコトヲ要ス

第十條 排氣管ハ適當ナル消音裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第十一條 動力調節裝置、操向裝置、斷續裝置及變速裝置ハ機能確實ニシテ且容易ニ操縱シ得ベキモノタルコトヲ要ス

第 2429 号 本文

第十二條　制動裝置ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス
一　獨立ニ作用スベキ二系統以上ノモノニシテ一系統ハ後車軸ノ兩車輪ヲ制動スルコト但シ總重量（車輛重量及積載定量並ニ五十五瓩ニ乘車定員ヲ乘ジタル重量ノ總和以下之ニ同ジ）二千五百瓩未滿ノ自動車ノ制動裝置ニシテ四箇以上ノ車輪ヲ制動シ且制動力ノ傳達ニ流體壓力ヲ用ヒザルモノニ在リテハ一系統ト爲スコトヲ得
二　機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタル場合ニ於テ車輛ノ横辷、轉覆其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト
三　運轉者自動車ニ在ラザルトキ車輛ノ停止狀態ヲ保持シ得ベキ構造タルコト

第十三條　車輛重量三百六十瓩以上ノ自動車ハ逆行裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第十四條　タイヤハ護謨製ノモノタルコトヲ要ス

第十五條　自動車ハ適當ナル警音器ヲ備フルコトヲ要ス

道知事ノ指定スル市街地ニ於テ運轉スル自動車ハ軟調ノ音響ヲ發スル警音器ヲ使用スベシ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車（專ラ人命救護ノ目的ヲ以テ常備セラレ且其ノ目的ノ爲必要ナル構造設備ヲ有スル自動車以下之ニ同ジ）及道知事ノ指定スル自動車ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十六條　自動車ハ運轉者ノ見易キ箇所ニ速度計ヲ備ヘ且其ノ數字ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

第十七條　前照燈ハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス
一　車輛ノ前面ノ兩側ニ各一箇ヲ備フルコト
二　前方五十米以內ニ於ケル交通上ノ障害物ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スルコト
三　主要光線ノ限界ハ前方二十五米以內ニ於テ地上一・二米ヲ超エザルコト

第十八條　車輛ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上及少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ車輛番號ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ消燈シ得ザル裝置ト爲スコトヲ要ス

第十九條　車室ニハ室內燈ヲ備フルコトヲ要ス

第二十條　車輛ノ外部ニハ制規ノ燈火以外ノ燈火ヲ備フルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　尾燈、停止燈及方向指示器ノ燈火ノ外有色ノ燈火ヲ用フルコトヲ得ズ但シ他ノ法令又ハ前條但書ノ規定ニ依リ備ヘタル燈火ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　普通自動車ハ車輛ノ前面及後面ニ緩衝器ヲ備フルコトヲ要ス但シ乘用ニ供セザル自動車ノ車輛ノ後面ニハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第二十三條　普通自動車ハ前面硝子拂拭器ヲ備フルコトヲ要ス

第二十四條　道知事ノ指定スル市街地ヲ主タル運轉地トスル普通自動車ハ方向指示器、後寫鏡及停止燈ヲ備フルコトヲ要ス

第二十五條　道知事必要アリト認ムルトキハ特殊自動車又ハ小型自動車ヲ指定シテ緩衝器、前面硝子拂拭器、方向指示器、後寫鏡又ハ停止燈ノ備附ヲ命ズルコトヲ得

第二十六條　自動車ニ依リ汚水、泥土等ヲ飛散スル虞アル場合ニ於テハ泥除ヲ裝置スベシ但シ特別ノ事由ニ依リ道知事ノ承認ヲ受ケタル自動車ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條　自動自轉車、側車附自動自轉車又ハ自動三輪車ハ其ノ構造裝置ニ付第十二條第一號、第十七條第一號及第四十一條第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依ルコトヲ得
一　一系統ノ制動裝置ヲ備フルコト
二　前照燈一箇以上ヲ備フルコト
三　車輛番號ハ車輛ノ後面ニ標示スルコト

小型自動車タル前項ノ自動車ニシテ左ノ制限ヲ超エザルモノハ同項ノ規定ニ依ルノ外速度計ヲ備ヘザルコトヲ得
一　內燃機關ヲ原動機トスルモノニシテ四行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筩容積ノ合計四百五十立方糎、二行程式ヲ用フルモノニ在リテハ氣筩容積ノ合計三百立方糎
二　電動機ヲ原動機トスルモノニ在リテハ一時間定格出力三キロワット

第二十八條　特別ノ事由アルトキハ道知事ノ承認ヲ受ケ前條第一項ノ自動車以外ノ特殊自動車ハ第十二條第一號、第十四條乃至第十八條又ハ第四十一條第一項ノ規定、前條ノ自動車以外ノ小型自動車ハ第十二條第一號、第十六條乃至第十八條又ハ第四十一條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第二十九條　道知事必要アリト認ムルトキハ專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ニ付危害豫防上必要ナル構造裝置ヲ命ズルコトヲ得交通上特ニ危險ノ虞アル道路ヲ主タル運轉地トスル自動車ニ付亦同ジ

第三十條　車輛ノ外部ハ之ヲ溜色ニ塗リ又ハ消防自動車、郵便自動車及專ラ危險物ヲ運搬スル自動車ヲ除クノ外赤色ニ塗ルコトヲ得ズ

前項ニ規定スルモノノ外道知事必要アリト認ムルトキハ自動車ノ塗色ヲ制限スルコトヲ得

第三十一條　運轉者ハ自動車ノ構造裝置ニ付危險豫防上必要ナル注意ヲ爲スベシ

自動車ノ使用主其ノ構造裝置ニ關シ警察官吏ヨリ注意ヲ受ケ又ハ危害豫防ニ關シ運轉者ヨリ告知ヲ受ケタルトキハ必要ナル措置ヲ爲スニ非ザレバ自動車ヲ使用スルコトヲ得ズ

第三章　車輛ノ檢査

第三十二條　自動車ハ車輛檢査ニ合格シ且車輛番號ノ指定ヲ受ケタルモノニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ第四十九條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　車輛檢査ハ自動車ノ使用主ノ申請ニ依リ其ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事之ヲ行フ

商品タル自動車ヲ所持スル者ハ自動車ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ車輛檢査ヲ受クルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一　申請者ノ住所、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地及名稱並ニ代表者ノ住所及氏名以下之ニ同ジ）
二　第一項ノ規定ニ依ル申請又ハ前項ノ規定ニ依ル申請ノ別
三　自動車ノ種別（第二條第一項ニ規定スル自動車ノ種類及特殊自動車ニ在リテハ第五十一條第二項ノ規定ニ依リ定ムル種類以下之ニ同ジ）、車名及型式
四　自動車ノ用途（乘用、貨物用、自家用、營業用等ノ別）
五　乘車定員及積載定量
六　車輛重量及總重量
七　車輛ノ長サ、幅及高サ
八　原動機ノ行程式
九　氣筩ノ內徑、行程及箇數並ニ其ノ容積ノ合計

十　馬力又ハ一時間定格出力
十一　機關番號
十二　制動裝置ノ系統數、制動車輪數及制動力傳達方法
十三　車庫又ハ車輛置場ノ所在地

第三十四條　道知事必要アリト認ムルトキハ前條第三項第五號又ハ第四十二條第一項第四號ノ規定ニ依ル申請ニ拘ラズ別ニ乘車定員又ハ積載定量ヲ指定スルコトヲ得

第三十五條　車輛檢査ニ合格シタル自動車ニハ第一號樣式ノ車輛檢査證ヲ交付シ且車輛番號ヲ指定ス但シ第三十三條第二項ノ規定ニ依ル車輛檢査ニ合格シタル自動車ニハ車輛番號ヲ指定セズ

第三十六條　第三十三條第二項ノ規定ニ依ル車輛檢査ニ合格シタル自動車ヲ使用セントスルトキハ其ノ使用主ハ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ車輛檢査證ノ書換及車輛番號ノ指定ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ車輛檢査證ヲ添附スベシ
一　申請者ノ住所、氏名及生年月日
二　自動車ノ用途（乘用、貨物用其ノ他ノ別以下之ニ同ジ）
三　車庫又ハ車輛置場ノ所在地

第三十七條　車輛檢査ノ有效期間ハ一年內ニ於テ道知事之ヲ指定ス

第三十八條　車輛檢査ノ有效期間滿了後仍引續キ自動車ヲ使用セントスルトキハ其ノ使用主ハ有效期間滿了前三十日內ニ車輛檢査ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一　申請者ノ住所及氏名
二　自動車ノ種別及車輛番號
三　自動車ノ用途
四　車輛檢査ノ有效期限

第三十九條　自動車ノ使用主其ノ主タル使用地ヲ變更シタルトキハ十日內ニ變更後ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ屆出デ新ニ車輛番號ノ指定ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ車輛檢査證ヲ添附スベシ
一　屆者ノ住所、氏名及生年月日
二　自動車ノ種別
三　自動車ノ用途
四　變更前及變更後ノ主タル使用地
五　主タル使用地變更ノ年月日
六　車庫又ハ車輛置場ノ所在地

第四十條　自動車ノ使用主ニ變更アリタルトキハ新使用主ハ十日內ニ其ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ屆出デ車輛檢査證ノ書換ヲ受クベシ其ノ主タル使用地舊使用主ノ主タル使用地ト異ルトキハ前條ノ規定ニ準ジ更ニ車輛番號ノ指定ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ車輛檢査證ヲ添附スベシ
一　屆者ノ住所、氏名及生年月日
二　舊使用主ノ住所及氏名
三　自動車ノ種別及車輛番號
四　自動車ノ用途
五　使用主變更ノ事由
六　使用主變更ノ年月日
七　車庫又ハ車輛置場ノ所在地

第四十一條　車輛檢査證ハ車輛ノ內部ノ見易キ箇所ニ、車輛番號ハ車輛ノ前面及後面ノ見易キ箇所ニ之ヲ標示スベシ

前項ノ規定ニ依ルノ外一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ニ在リテハ車輛番號ヲ車室內ノ乘用者ノ見易キ箇所ニ、貨物自動車ニ在リテハ其ノ積載定量ヲ車輛ノ後面ノ見易キ箇所ニ標示スベシ

車輛番號ノ標示ニハ第二號樣式ノ標板ヲ使用スベシ

第四十二條　自動車左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ車輛ノ檢査ヲ受ケ之ニ合格スルニ非ザレバ運轉スルコトヲ得ズ但シ第四十九條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
一　原動機又ハ其ノ氣筩ヲ取換ヘタルトキ
二　燃料油槽、燃料槽其ノ他之ニ類スル容器ノ構造又ハ位置ヲ變更シタルトキ
三　操向裝置、變速裝置又ハ制動裝置ノ構造ヲ變更シタルトキ
四　乘車定員又ハ積載定量ヲ增加シタルトキ
五　車輛ノ長サ、幅又ハ高サヲ增加セントスルトキ
六　第二十九條ノ規定ニ依ル危害豫防上必要ナル構造裝置ニシテ道知事ノ指定スルモノヲ設ケ又ハ之ヲ變更シタルトキ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ車輛檢査證ヲ添附スベシ
一　申請者ノ住所及氏名
二　自動車ノ種別及車輛番號
三　自動車ノ用途
四　車輛檢査ノ有效期限
五　變更事項
六　變更ノ年月日

第四十三條　道知事ハ定期又ハ臨時ニ車輛ノ檢査ヲ行フコトヲ得

第四十四條　道知事ハ前二條ノ規定ニ依ル檢査ニ基キ車輛檢査ノ有效期間ヲ延長若ハ短縮シ又ハ自動車ノ使用ヲ禁止若ハ停止シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分ニ依リ車輛檢査證ノ記載事項ニ變更ヲ生ズルトキハ自動車ノ使用主ハ十日內ニ其ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ車輛檢査證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第四十五條　自動車ノ使用主ハ其ノ住所若ハ氏名又ハ車庫若ハ車輛置場ノ所在地ニ變更アリタルトキハ十日內ニ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ屆出デ車輛檢査證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第四十六條　車輛檢査證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ自動車ノ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ車輛檢査證アルトキハ之ヲ添附スベシ
一　申請者ノ住所及氏名
二　自動車ノ種別及車輛番號
三　自動車ノ用途
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第四十七條　警察署長第三十九條、第四十條、第四十四條第二項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル屆書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第三號樣式ノ車輛檢査證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第四十一條第一項ノ規定ハ前項ノ車輛檢査證證明書ニ付之ヲ準用ス

第一項ノ車輛檢査證證明書ハ車輛檢査證ノ交付ヲ受ケタルトキ遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ自動車ノ使用主ハ遲滯ナク車輛檢査證ヲ返納スベシ
一　自動車ノ使用ヲ廢止シタルトキ
二　車輛檢査ノ有效期間滿了シタルトキ
三　第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依リ自動車ノ使用ヲ禁止セラレタルトキ
四　亡失シタル車輛檢査證ヲ發見シタルトキ

第2429号　本文

第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依リ自動車ノ使用ノ停止ヲ命ゼラレタル場合ニ於テハ自動車ノ使用主ハ遲滯ナク車輛檢査證ヲ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ差出シ停止期間滿了シタルトキ之ガ交付ヲ受クベシ

第四十九條　自動車ノ檢査、試運轉又ハ廻送ノ爲車輛ノ檢査ニ合格セズ又ハ車輛番號ノ指定ヲ受ケザル自動車ヲ一時運轉セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ出發地ヲ管轄スル警察署長ニ申請シテ許可ヲ受クベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　自動車ノ種別、車名、型式及車輛番號
三　自動車ノ用途
四　一時運轉ノ目的
五　運轉經路
六　運轉日時
七　運轉者ノ住所、氏名及運轉免許ノ種別（第五十一條第一項ニ規定スル運轉免許ノ種類及特殊免許ニ在リテハ同條第二項ノ規定ニ依リ定ムル種類以下之ニ同ジ）

警察署長前項ノ一時運轉ヲ許可シタルトキハ第四號樣式ノ一時運轉許可標板及第五號樣式ノ一時運轉許可證ヲ交付ス

第四十一條第一項ノ規定ハ前項ノ一時運轉許可標板ニ、第六十二條ノ規定ハ同項ノ一時運轉許可證ニ付之ヲ準用ス

第二項ノ一時運轉許可標板及一時運轉許可證ハ運轉終了後遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第四章　運轉免許

第五十條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受ケタル者ニ非ザレバ自動車ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第五十一條　運轉免許ヲ分チテ普通免許、特殊免許及小型免許ノ三種トス

普通免許ヲ受ケタル者ハ普通自動車及小型自動車ヲ、特殊免許ヲ受ケタル者ハ別ニ定ムル種類ノ特殊自動車及小型自動車ヲ、小型免許ヲ受ケタル者ハ小型自動車ヲ運轉スルコトヲ得

第五十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受クルコトヲ得ズ

一　普通免許及特殊免許ニ在リテハ十八歲未滿ノ者、小型免許ニ在リテハ十六歲未滿ノ者
二　精神病者、聾者、啞者又ハ盲者
三　運轉免許又ハ假運轉免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者

第五十三條　運轉免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ道知事ニ申請スベシ

一　申請者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　運轉免許ノ種別
三　第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ現ニ有スル運轉免許ノ種別、免許證番號及有效期限
四　兵役關係（徵集年度、役種、兵種、官等級及所屬ノ聯隊區、師團又ハ鎭守府名以下之ニ同ジ）

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル書類及寫眞（申請前六月內ニ撮影シタル脫帽、正面、半身像、名刺版、無臺紙ノ寫眞ニシテ其ノ裏面ニ氏名及生年月日ヲ記載セルモノ以下之ニ同ジ）二葉ヲ添附スベシ但シ第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ第二號ニ掲グル書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

一　履歷書
二　戶籍抄本
三　第五十五條第一項第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニ在リテハ運轉免許證ノ寫、同條第二項第二號ニ該當スル者ニ在リテハ運轉免許證又ハ其ノ寫、同項第三號ニ該當スル者ニ在リテハ卒業證書ノ寫及在學中自動車ノ構造ニ關スル學科ヲ修得シタルコトノ證明書、同項第四號ニ該當スル者ニ在リテハ技術證明書ノ寫

第五十四條　普通免許及特殊免許ハ自動車ノ構造及取扱方法ノ要旨、自動車及交通ニ關スル取締法令竝ニ自動車ノ運轉技能ニ關スル試驗ニ合格シタル者ニ對シ之ヲ與フ

前項ノ試驗ニ關シ必要ナル事項ハ道知事之ヲ定ム

第五十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ前條第一項ノ試驗ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　現ニ運轉免許ヲ有スル者ニシテ運轉免許ノ有效期間滿了後仍引續キ當該自動車ヲ運轉セントスル者
二　普通免許ヲ有スル者ニシテ特許免許ヲ受ケントスル者
三　特殊免許ヲ有スル者ニシテ普通免許又ハ別種ノ特殊免許ヲ受ケントスル者

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ付テハ前條第一項ノ試驗ノ一部ヲ免除スルコトヲ得

一　特殊免許ヲ受ケントスル者
二　朝鮮外ノ行政官廳ニ於テ與ヘタル運轉免許ヲ有スル者
三　尋常小學校又ハ修業年限六年ノ普通學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ工業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ機械科卒業者ニシテ在學中自動車ノ構造ニ關スル學科ヲ修得シタル者
四　朝鮮總督ノ指定スル者ノ技倆證明書ヲ有スル者

第五十六條　道知事ハ色盲、四肢運動障害其ノ他自動車ノ運轉ニ適セズト認ムル者ニ對シテハ運轉免許ヲ與ヘザルコトヲ得

第五十七條　道知事運轉免許ヲ與ヘタルトキハ第六號樣式ノ運轉免許證ヲ交付ス

第五十八條　運轉免許ノ有效期間ハ五年トス

第五十九條　運轉免許ノ有效期間滿了後仍引續キ當該自動車ヲ運轉セントスル者ハ有效期間滿了前六月內ニ運轉免許ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ履歷書及寫眞二葉ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　運轉免許ノ有效期限

第六十條　朝鮮外ノ行政官廳ニ於テ與ヘタル運轉免許ヲ有スル者自動車ニ依リ旅行セントスルトキハ道知事ニ申請シテ假運轉免許ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル假運轉免許ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ運轉免許證又ハ其ノ寫及寫眞二葉ヲ添附スベシ

一　申請者ノ本籍又ハ國籍、居所又ハ滯在地、氏名及年齡
二　運轉セントスル自動車ノ種別、車名、型式及車輛番號
三　運轉期間

第一項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ道知事ハ自動車ヲ指定シ三月內ノ期間ヲ限リ假運轉免許ヲ與フルコトヲ得

道知事假運轉免許ヲ與ヘタルトキハ第七號樣式ノ假運轉免許證ヲ交付ス

第六十一條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ有スル者ハ重ネテ同種ノ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受クルコトヲ得ズ

第六十二條　運轉者ハ運轉中運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ携帶スベシ

第六十三條　運轉免許ヲ受ケタル者主タル運轉地ニ於テ自動車ヲ運轉セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ具シ其ノ地ヲ管轄スル道知事ニ屆出デ運轉免許證ニ主タル運轉地ノ記入ヲ受クベシ

第2429号　本文

一　屆者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　主タル運轉地
四　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

主タル運轉地ヲ管轄スル道知事運轉免許ヲ與ヘタル道知事ト異ルトキハ前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ寫眞一葉ヲ添附スベシ

第六十四條　運轉免許ヲ受ケタル者主タル運轉地ヲ變更シタルトキハ十日內ニ前條第一項各號ノ事項及變更ノ年月日ヲ具シ變更後ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ屆出デ運轉免許證ニ運轉地變更ノ記入ヲ受クベシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　運轉免許ヲ受ケタル者ハ其ノ住所若ハ氏名又ハ兵役關係ニ變更アリタルトキハ十日內ニ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ屆出デ運轉免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第六十六條　運轉免許證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ自動車ノ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ寫眞二葉及運轉免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　亡失又ハ毀損ノ事由

第六十七條　警察署長第六十三條、第六十四條又ハ前條ノ規定ニ依ル屆書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ寫眞一葉ヲ徵シ第八號樣式ノ運轉免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第四十七條第三項及第六十二條ノ規定ハ前項ノ運轉免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

第六十八條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受ケタル者第五十二條第二號ニ該當スルニ至リタルトキハ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事又ハ假運轉免許ヲ與ヘタル道知事ハ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ取消スベシ

第六十九條　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ主タル運轉地ヲ管轄スル道知事又ハ假運轉免許ヲ與ヘタル道知事ハ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得

一　法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二　故意又ハ過失ニ因リ自動車ニ依リ他人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキ
三　色盲、四肢運動障害其ノ他自動車ノ運轉ニ適セザルニ至リタルトキ

第七十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ返納スベシ

一　自動車ノ運轉ヲ廢止シタルトキ
二　運轉免許又ハ假運轉免許ノ有效期間滿了シタルトキ
三　運轉免許又ハ假運轉免許ヲ取消サレタルトキ
四　亡失シタル運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ發見シタルトキ
五　普通免許又ハ特殊免許ヲ受ケタル者小型免許證ヲ所持スルトキ

運轉免許又ハ假運轉免許ヲ受ケタル者死亡シ又ハ行衞不明ト爲リタルトキハ其ノ戶主、家族、同居人又ハ雇主ハ遲滯ナク運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ返納スベシ

第六十九條ノ規定ニ依リ運轉免許又ハ假運轉免許ヲ停止セラレタルトキハ遲滯ナク運轉免許證又ハ假運轉免許證ヲ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ差出シ停止期間滿了シタルトキ之ガ交付ヲ受クベシ

第五章　自動車ノ用法

第七十一條　本章ニ於テ停車ト稱スルハ人ノ乘降若ハ貨物ノ積卸ノ爲、法令ノ規定若ハ交通上ノ標示指示ニ依リ又ハ交通上ノ危害豫防ノ爲一時自動車ヲ停止スルコトヲ謂ヒ駐車ト稱スルハ停車以外ノ場合ニ於テ自動車ヲ駐ムルコトヲ謂フ

停止時間五分以上ニ亙ル停車ハ之ヲ駐車ト看做ス

第七十二條　自動車ハ其ノ車輛ノ幅ノ二倍半以上ノ有效幅員ヲ有スル道路又ハ其ノ車輛ノ幅ノ一倍半以上ノ有效幅員ヲ有シ且適當ノ間隔每ニ自動車相互ニ行違ヒ得ル場所ヲ有スル道路ニ非ザレバ之ヲ運轉スルコトヲ得ズ但シ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ消防自動車、救急自動車及道知事ノ指定スル自動車（以下單ニ消防自動車ノ類ト稱ス）ニハ之ヲ適用セズ

第一項ニ規定スル道路ノ有效幅員ハ步道及車馬道ノ區別アル道路ニ在リテハ車馬道ノ有效幅員トス

道知事必要アリト認ムルトキハ區域、時間若ハ自動車ヲ指定シ又ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道路ヲ指定シテ自動車ノ運轉ヲ制限スルコトヲ得

第七十三條　自動車ノ最高速度ハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　總重量二千五百瓩（乘車定員七人以下ノ乘用自動車ニ在リテハ三千瓩）未滿ノ自動車ニシテ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ且全車輪ヲ制動スル制動裝置ヲ有スルモノニ在リテハ每時五十粁但シ市街地及有效幅員車輛ノ幅ノ二倍半未滿ノ道路ニ於テハ每時四十粁
二　其ノ他ノ自動車ニ在リテハ每時三十五粁

前條第一項但書ノ規定ニ依リ警察官吏ノ承認ヲ受ケタル場合ノ自動車ノ最高速度ノ制限ハ每時十五粁トス

道知事必要アリト認ムルトキハ道路、區域、時間又ハ自動車ヲ指定シテ前二項ノ規定ニ拘ラズ更ニ最高速度ヲ制限スルコトヲ得

第一項第二號ノ自動車ノ車輛ノ後部左側ノ見易キ箇所ニ第九號樣式ノ正三角形ヲ標示スルコトヲ要ス但シ消防自動車ノ類ハ此ノ限ニ在ラズ

第七十四條　消防自動車ノ類ノ最高速度ノ制限ハ前條第一項及第三項ノ規定ニ拘ラズ每時六十五粁トス

第七十五條　道知事ハ自動車道ニ於テ運轉スル自動車ノ最高速度ノ制限ニ關シ前二條ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　運轉者ハ前三條ノ規定ニ依ル最高速度ノ制限內ニ於テ道路及交通ノ狀況ニ應ジ公衆ニ危害ヲ及ボシ又ハ交通ヲ妨害スルノ虞ナキ速度及方法ヲ以テ自動車ヲ運轉スベシ

第七十七條　運轉者自動車ノ方向ヲ轉換シ、徐行シ若ハ停止セントスルトキ又ハ後續車輛ヲシテ追越サシメントスルトキハ手信號ヲ爲スベシ但シ方向指示器、停止燈等ニ依ル信號ヲ以テ手信號ニ代フル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ手信號ハ左ニ掲グル方法ニ依ルベシ

一　左折セントスルトキ
左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ水平ニ出シ又ハ右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ擧グ
二　右折セントスルトキ
右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ水平ニ出

シ又ハ左手ヲ開キ之ヲ左方車體外ニ擧グ

三　徐行セントスルトキ
左手又ハ右手ヲ開キ車體外斜下ニ出ス

四　停止セントスルトキ
左手又ハ右手ヲ握リ車體外斜下ニ出ス

五　後續車輛ヲシテ追越サシメントスルトキ
右手ヲ開キ之ヲ右方車體外ニ出シテ之ヲ前後水平ニ動カス

前項各號以外ノ場合ニ於ケル信號ニ關シテハ道知事ノ定ムル所ニ依ルベシ

第七十八條　異リタル方向ノ道路ヨリ交通整理ノ行ハレザル道路ノ交叉點ニ同時ニ入ラントスル自動車相互間ニ在リテハ左方ノ自動車ニ進路ヲ讓ルベシ但シ小道路ヨリ大道路ニ入ラントスル自動車ハ大道路ノ自動車ニ進路ヲ讓ルベシ

消防自動車ノ類ト他ノ自動車トノ相互間ニ在リテハ前項ノ規定ニ拘ラズ消防自動車ノ類ニ進路ヲ讓ルベシ

第七十九條　消防自動車ノ類接近シ來リタル場合ニ於テハ之ニ對シ他ノ自動車ハ道路ノ左側端ニ避讓スベシ

第八十條　急坂路ニ於テ行違フ自動車相互間ニ在リテハ坂路ノ下方ヨリ上方ニ向ヒ運轉スル自動車ニ對シ他ノ自動車ハ道路ノ左側端ニ避讓スベシ

第八十一條　運轉者ハ道路ノ交叉點、曲リ角、急坂路、隧道又ハ幅員狹キ橋梁ニ於テハ他ノ自動車ヲ追越スベカラズ但シ消防自動車ノ類ヲ運轉スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十二條　運轉者ハ鐵道又ハ軌道ノ踏切ヲ通過セントスル場合ニ於テハ一旦停車シ安全ナルコトヲ確認シタル後通過スベシ但シ警察官吏、信號人等ノ標示指示其ノ他ノ狀況ニ依リ安全ナルコトヲ確認シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十三條　運轉者ハ停留中ノ電車ノ側方ヲ通過セントスル場合ニ於テハ其ノ後方ニ於テ一旦停車シ電車ノ發車シタル後進行スベシ但シ乘客ノ乘降終了シタル場合、安全地帶ノ設アル場合又ハ電車ノ左方ニ自動車ト一・五米以上ノ間隔ヲ存スル場合ニ於テハ徐行スルコトヲ得

第八十四條　不適當ナル積載又ハ運轉ニ因リ運轉中甚シキ騷音ヲ發セシムベカラズ

警音器ハ交通安全ノ爲必要ナル限度ヲ超エテ之ヲ使用スベカラズ

排出瓦斯ハ消音裝置ヲ經ズシテ排出セシムベカラズ但シ急坂路ニ於テ運轉上已ムヲ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十五條　運轉中惡臭又ハ有害ノ瓦斯又ハ煤煙ヲ多量ニ發散セシムベカラズ

第八十六條　夜間自動車ヲ運轉スルトキハ制規ノ燈火ヲ點ズベシ

燈火ヲ點ジタル自動車他ノ自動車ト行違フ場合ニ於テハ前照燈ノ光度ヲ減ジ若ハ其ノ照射方向ヲ下向ト爲シ又ハ前照燈ヲ一時消滅シテ側燈ヲ點ズベシ

第八十七條　運轉者ハ酒氣ヲ帶ビテ自動車ヲ運轉シ又ハ運轉中喫煙スベカラズ

第八十八條　自動車ノ使用主又ハ運轉者ハ車輛ノ長サ及幅、高サ地上三・五米（小型自動車ニ在リテハ一・八米）竝ニ積載定量又ハ乘車定員ヲ超エテ積載シ又ハ乘車セシムルコトヲ得ズ但シ貨物自動車ニハ乘車定員ノ外運送中ニ於ケル運送品看守ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テハ一人ヲ限リ附添人ヲ乘車セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ特別ノ事由ニ依リ警察署長ノ許可ヲ受ケタル場合又ハ應急ノ措置ヲ必要トスル傷病人ヲ乘車セシムル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

警察署長前項又ハ第九十六條第三項ノ規定ニ依ル許可ヲ與ヘタルトキハ第十號樣式ノ制限外積載許可票ヲ交付ス

前項ノ制限外積載許可票ハ車輛ノ前方見易キ箇所ニ標示シ運轉終了後遲滯ナク之ヲ返納スベシ

第八十九條　左ニ揭グル場所ニ於テハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外停車又ハ駐車スルコトヲ得ズ

一　道路ノ交叉點又ハ曲リ角ヨリ五米以內
二　橫斷步道
三　安全地帶ノ左側
四　前各號ノ外警察署長ノ指示シタル場所

左ニ揭グル場所ニ於テハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外駐車スルコトヲ得ズ

一　隧道又ハ橋梁
二　消防署、消防手派出所又ハ消防機具置場ノ直前及其ノ兩端ヨリ三米以內
三　火災報知機又ハ消火栓ヨリ三米以內
四　前各號ノ外警察署長ノ指示シタル場所

第九十條　警察署長必要アリト認ムルトキハ時間又ハ自動車ヲ指定シテ駐車ヲ制限スルコトヲ得

第九十一條　警察署長必要アリト認ムルトキハ一定區域內ニ於テ時間ヲ定メ又ハ定メズシテ駐車場ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ指定アリタルトキハ運轉者ハ其ノ區域內及時間內ニ於テハ駐車場以外ノ場所ニ駐車スルコトヲ得ズ

第九十二條　自動車ノ停車又ハ駐車ハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外道路ノ左側端ニ於テ交通ノ方向ニ從ヒ之ヲ爲スベシ

警察署長必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ別ニ停車又ハ駐車ノ方法ヲ命ズルコトヲ得

第九十三條　運轉者停車中又ハ駐車中ノ自動車ヲ去ラントスルトキハ停止狀態ヲ保持シ得ル措置ヲ爲シ且已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外機關ノ回轉ヲ停止スベシ

第九十四條　運轉者ハ危害豫防其ノ他交通上ノ必要ニ基ク警察署長ノ標示又ハ警察官吏ノ指示ニ從フベシ

第九十五條　自動車ニ依リ他人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキハ運轉者ハ直ニ自動車ノ運轉ヲ中止シ被害者ノ救護其ノ他ニ付必要ナル應急ノ措置ヲ爲スベシ

運轉者ハ前項ノ措置ヲ了シ且本人、雇主及自動車使用主ノ住所、氏名及車輛番號ヲ警察官吏ニ申告シ警察官吏在ラザルトキハ被害者又ハ其ノ同伴者ニ通告スルニ非ザレバ自動車ノ運轉ヲ繼續スルコトヲ得ズ

消防自動車ノ類、乘合自動車、郵便自動車又ハ傷病人ヲ運搬スル自動車ノ運轉者ハ乘務員其ノ他ノ從業員ヲシテ前二項ノ措置ヲ爲サシメ自動車ノ運轉ヲ繼續スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ被害者又ハ其ノ同伴者ニ通告シテ自動車ノ運轉ヲ繼續シタル場合ニ於テハ運轉者ハ遲滯ナク前各項ノ事實ヲ最寄警察官吏ニ申告スベシ

自動車ノ乘用者ハ運轉者又ハ從業員ガ前各項ノ規定ニ依ル措置ヲ爲スニ付之ヲ妨グルコトヲ得ズ

第六章　車輛ノ牽引

第九十六條　牽引自動車以外ノ自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スルコトヲ得ズ

牽引自動車ニ依リ他ノ車輛ヲ牽引スル場合ニ於テハ左ノ制限ニ依ルベシ

一　被牽引車ハ牽引自動車ト連結シ長サ十二米、幅二・二米、高サ三米以內タルコト
二　積荷ハ牽引自動車ノ前方及被牽引車ノ後方一米、車輛ノ幅竝ニ高サ地上三・五米ヲ超エテ之ヲ積載セザルコト
三　被牽引車ノタイヤハ護謨製ノモノタルコト

四　被牽引車ニハ運轉者牽引自動車ニ在ラザルトキ停止狀態ヲ保持シ得ベキ制動裝置ヲ備ヘ第九十三條ノ規定ニ準ジ措置スルコト
五　被牽引車ニハ運轉者ノ座席ヨリ操縱スルコトヲ得ル制動裝置ヲ有スルモノヲ除クノ外制動裝置ノ操縱ヲ爲ス者ヲ乘車セシムルコト
六　制動裝置ハ牽引自動車ト被牽引車トヲ連結シタル場合ニ於テ機能確實且容易ニ操縱シ得ベキモノニシテ之ヲ作用セシメタルトキ車輛ノ橫辷、轉覆其ノ他危險ノ虞ナキモノタルコト
七　被牽引車ノ後面ニハ相當ノ光度ヲ有スル赤色ノ尾燈一箇以上ヲ備ヘ夜間之ヲ點燈スルコト
八　被牽引車ノ後面ノ見易キ箇所ニ牽引自動車ノ車輛番號ヲ標示シ少クトモ二十五米ノ距離ニ於テ之ヲ明瞭ニ認メ得ベキ光度ヲ有スル燈火ヲ以テ照射スルコト
九　前二號ニ規定スル燈火ハ運轉者ノ座席ヨリ之ヲ消燈シ得ザル裝置ト爲スコト
十　最高速度ハ牽引自動車及被牽引車ノ全車輪ニ空氣入タイヤヲ使用シ運轉者ノ座席ヨリ牽引自動車及被牽引車ノ全車輪ヲ制動スルモノニ在リテハ每時二十五粁、其ノ他ノモノニ在リテハ每時十五粁以內タルコト

前項第二號ノ積荷ノ制限ヲ超エ分割スルコトヲ得ザル物件ヲ積載セントスル場合ニ於テハ出發地ヲ管轄スル警察署長ノ許可ヲ受クベシ

事故ニ因リ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ第一項又ハ前項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ運轉者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ最寄警察官吏ニ申告スベシ

第九十七條　道知事必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七章　就業免許

第九十八條　運轉免許ヲ有スル者ト雖モ就業免許ヲ受クルニ非ザレバ一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第九十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ就業免許ヲ受クルコトヲ得ズ

一　十八歲未滿ノ者
二　道知事ノ指定スル傳染性疾患ヲ有スル者
三　就業免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者

第百條　就業免許ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ具シ就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請スベシ

一　申請者ノ本籍、住所、氏名及生年月日
二　運轉免許ノ種別及免許證番號
三　運轉免許ノ有效期限
四　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ運轉免許證ノ寫及履歷書ヲ添附スベシ

第百一條　就業免許ヲ受ケントスル者小型免許ノミヲ有スル者ナルトキハ小型自動車ノ運轉技能ニ關シ試驗ヲ行フ

道知事必要アリト認ムルトキハ就業免許ヲ受ケントスル者ニ對シ就業地ノ地理其ノ他ノ事項ニ關シ試驗ヲ行フコトヲ得

第百二條　道知事就業免許ヲ與ヘタルトキハ第十一號樣式ノ就業免許證ヲ交付ス

第百三條　就業免許ハ當該運轉免許ノ有效期間中其ノ效力ヲ有ス

第百四條　就業免許ヲ受ケタル者ハ運轉免許ニ變更アリタルトキハ十日內ニ左ニ揭グル事項ヲ具シ就業地ヲ管轄スル道知事ニ屆出デ就業免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

一　屆者ノ住所及氏名
二　就業免許證番號
三　運轉免許ノ種別及免許證番號
四　運轉免許ノ有效期限

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ運轉免許證ノ寫ヲ添附スベシ

第百五條　就業免許ヲ受ケタル者其ノ就業地ヲ變更セントスルトキハ左ニ揭グル事項ヲ具シ變更後ノ就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ就業免許證ニ就業地變更ノ記入ヲ受クベシ

一　申請者ノ住所及氏名
二　就業免許證番號
三　運轉免許ノ種別及免許證番號
四　運轉免許ノ有效期限
五　變更前及變更後ノ就業地
六　變更ノ年月日
七　他人ニ雇傭セラルルトキハ其ノ雇主ノ住所、職業及氏名

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ履歷書ヲ添附スベシ

第百一條第二項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六條　就業免許ヲ受ケタル者ハ其ノ住所又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ十日內ニ第四條ノ規定ニ依ル區分ニ準ジ警察署長ニ其ノ旨ヲ屆出デ就業免許證ニ變更事項ノ記入ヲ受クベシ

第百七條　就業免許證ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ就業地ヲ管轄スル道知事ニ申請シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ就業免許證アルトキハ之ヲ添附スベシ

一　申請者ノ本籍、住所及氏名
二　就業免許證番號
三　運轉免許ノ種別及免許證番號
四　亡失又ハ毀損ノ事由

第百八條　警察署長第百四條又ハ前條ノ規定ニ依ル屆書又ハ申請書ヲ受附ケタルトキハ第十二號樣式ノ就業免許證證明書ヲ交付スルコトヲ得

第百九條　第六十一條ノ規定ハ就業免許、第六十二條ノ規定ハ就業免許證、第六十七條第二項ノ規定ハ就業免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

第百十條　就業免許ヲ受ケタル者第九十九條第二號ニ該當スルニ至リタルトキハ就業地ヲ管轄スル道知事ハ就業免許ヲ取消スベシ

第百十一條　就業免許ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ就業地ヲ管轄スル道知事ハ就業免許ヲ取消又ハ停止スルコトヲ得

一　法令若ハ法令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二　故意又ハ過失ニ因リ自動車ニ依リ他人ヲ傷害シ又ハ物件ヲ損壞シタルトキ

第百十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク就業免許證ヲ返納スベシ

一　一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ノ運轉ヲ廢止シタルトキ
二　運轉免許ノ有效期間滿了シタルトキ
三　運轉免許ヲ取消サレタルトキ
四　就業免許ヲ取消サレタルトキ
五　亡失シタル就業免許證ヲ發見シタルトキ

就業免許ヲ受ケタル者死亡シ又ハ行衛不明ト爲リタルトキハ其ノ戶主、家族、同居人又ハ雇主ニ於テ遲滯ナク就業免許證ヲ返納スベシ

第六十九條又ハ前條ノ規定ニ依リ運轉免許又ハ就業免許ヲ停止セラレタルトキハ遲滯ナク就業免許證ヲ第四條ニ規定スル區分ニ準ジ警察署長ニ差出シ停止期間滿了シタルトキ之ガ交付ヲ受クベシ

第2429号 本文

第2429号　本文

第一項第二號、第三號又ハ前項ノ規定ハ就業免許ヲ受ケタル者二以上ノ運轉免許ヲ有スル場合ニ在リテハ運轉免許ノ全部ニ付有效期間滿了シ又ハ取消若ハ停止ヲ受ケタルトキ之ヲ適用ス

第八章　手數料

第百十三條　車輛檢査、運轉免許試驗、運轉免許、就業免許試驗若ハ就業免許又ハ之ニ關スル證書ノ交付、書換若ハ再交付ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ノ區分ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

一　第三十二條ノ規定ニ依ル車輛檢査手數料	
普通自動車	一圓
特殊自動車	一圓
小型自動車	五十錢
二　第四十二條第一項ノ規定ニ依ル車輛檢査手數料	
普通自動車	五十錢
特殊自動車	五十錢
小型自動車	三十錢
三　第三十六條第一項又ハ第四十條第一項ノ規定ニ依ル車輛檢査證書換手數料	三十錢
四　車輛檢査證再交付手數料	三十錢
五　運轉免許試驗手數料	
普通免許	一圓五十錢
特殊免許	一圓五十錢
第五十五條第一項第一號ニ該當スル者ニ對スル運轉免許	一圓
六　小型運轉免許手數料	五十錢
七　運轉免許證再交付手數料	三十錢
八　第百一條第一項ノ規定ニ依ル就業免許試驗手數料	五十錢
九　就業免許手數料	五十錢
十　就業免許證再交付手數料	三十錢

第百十四條　前條ノ手數料ハ申請書又ハ屆書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スベシ

既納ノ手數料ハ之ヲ還付セズ

第百十五條　第百十三條第一號乃至第四號ノ規定ハ官廳又ハ公共團體ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ適用セズ

第九章　罰則

第百十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役、二百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第三條又ハ第四十四條第一項ノ規定ニ依ル道知事ノ處分ニ違反シタル者

二　第三十二條、第四十二條第一項、第五十條、第九十五條第一項第二項第四項第五項又ハ第九十八條ノ規定ニ違反シタル者

三　詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ車輛ノ檢査、運轉免許、假運轉免許又ハ就業免許ヲ受ケタル者

四　第六十九條又ハ第百十一條ノ規定ニ依ル運轉免許又ハ就業免許ノ停止ノ處分ニ違反シタル者

第百十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第三十一條第二項、第四十一條、第四十七條第三項、第四十八條、第四十九條第四項、第六十二條、第七十條、第七十二條第一項、第七十六條、第七十八條第二項、第七十九條、第八十一條乃至第八十七條、第八十八條第一項第四項、第八十九條、第九十三條、第九十四條、第九十六條、第百五條第一項又ハ第百十二條第一項乃至第三項ノ規定ニ違反シタル者

二　第四十三條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ之ヲ受クルコトヲ怠リタル者

三　同種ノ運轉免許、假運轉免許又ハ就業免許ヲ重ネテ申請シタル者

四　第七十二條第四項又ハ第九十七條ノ規定ニ依ル道知事ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者

五　第七十三條第一項第二項ニ規定スル最高速度ノ制限又ハ第七十三條第三項若ハ第七十五條ノ規定ニ依リ道知事ノ定メタル最高速度ノ制限ヲ超エテ自動車ヲ運轉シタル者

第百十八條　第三十九條第一項、第四十條第一項、第四十四條第二項、第四十五條、第六十三條第一項、第六十四條第一項、第六十五條、第九十一條第二項、第九十二條第一項、第百四條第一項若ハ第百六條ノ規定ニ違反シ又ハ第九十條若ハ第九十二條第二項ノ規定ニ依ル警察署長ノ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第百十九條　第四十一條第一項ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ハ車輛檢査證證明書及一時運轉許可標板ニ、第四十七條第三項ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ハ運轉免許證證明書及就業免許證證明書ニ、第六十二條ノ規定ノ違反ニ對スル罰則ハ一時運轉許可證、運轉免許證證明書、就業免許證及就業免許證證明書ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ自動車ノ使用主ニ適用スベキ罰則ハ自動車ノ使用主法人ナルトキハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第百二十一條　自動車ノ使用主ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附　則

第百二十二條　本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百二十三條　自動車取締規則ハ之ヲ廢止ス

第百二十四條　本令施行前從前ノ規定ニ依リ交付シタル車輛檢査證ハ之ヲ本令ニ依リ交付シタルモノト看做ス但シ其ノ有效期間ハ本令施行ノ日ヨリ六月內トス

第百二十五條　本令施行ノ際現ニ使用スル自動車ニシテ從前ノ規定ニ依リ車輛檢査又ハ運轉免許ヲ要セザルモノノ使用及運轉ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年內ハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第百二十六條　本令施行ノ際現ニ使用スル自動車ノ構造裝置ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ六月內ハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第百二十七條　本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル運轉手免許ヲ有スル者ハ其ノ免許ノ有效期間中ニ限リ第五十一條ノ運轉免許ヲ受ケタル者ト看做ス

前項ニ規定スル者ニシテ道知事ノ定ムルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ試驗ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル試驗ヲ受ケズ又ハ之ニ合格セザル者ニ對シテハ第一項ノ規定ニ拘ラズ道知事ハ其ノ運轉シ得ベキ自動車ノ種別ヲ制限スルコトヲ得

第百二十八條　本令施行ノ際現ニ一般公衆ノ乘用ニ供スル自動車ヲ運轉スル者ハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ本令ニ依リ就業免許ヲ受クベシ

前項ニ規定スル者ハ同項ノ期日迄仍從前ノ例ニ依リ當該自動車ノ運轉ヲ繼續スルコトヲ得

第百二十九條　第百二十四條及第百二十七條ニ規定スルモノヲ除クノ外從前ノ規定ニ依リ爲シタル許可其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第一號樣式

（表　　面）

第　　號

車輛檢査證　　何道 印

種別	自動車		
用途		車名	
車輛番號	第　　號	型式	
總重量	瓩	車輛重量	瓩
乘車定員	人	積載定量	瓩
長サ	米	氣筩　行程式	行程式
幅	米	氣筩　箇數	
		氣筩　總容積	立方仙
高サ	米	馬力	
		一時間定格出力	キロワツト
機關番號		登錄番號	
主タル使用地ノ變更	年　月　日變更屆出　何道 印		

十六仙

十二仙

（裏　　面）

檢査證交付年月日	年　月　日
有效期間	自　年　月　日至　年　月　日
	自　年　月　日至　年　月　日
使用主　住所	
使用主　氏名	
車庫又ハ車輛置場ノ所在地	
備考	

備考

一　種別欄ニハ自動車ノ左方ニ普通、特殊又ハ小型ノ種別ヲ、右方ニ特殊自動車ニ限リ第何種ヲ、點線ノ右方ニ自動自轉車、側車附自動自轉車、六輪車、電氣自動車等ノ別ヲ記入スルコト

二　用途欄ニハ乘用、貨物用、自家用、營業用等ノ別ヲ記入スルコト

三　車名欄ニハフォード、シボレー等ノ別ヲ記入スルコト

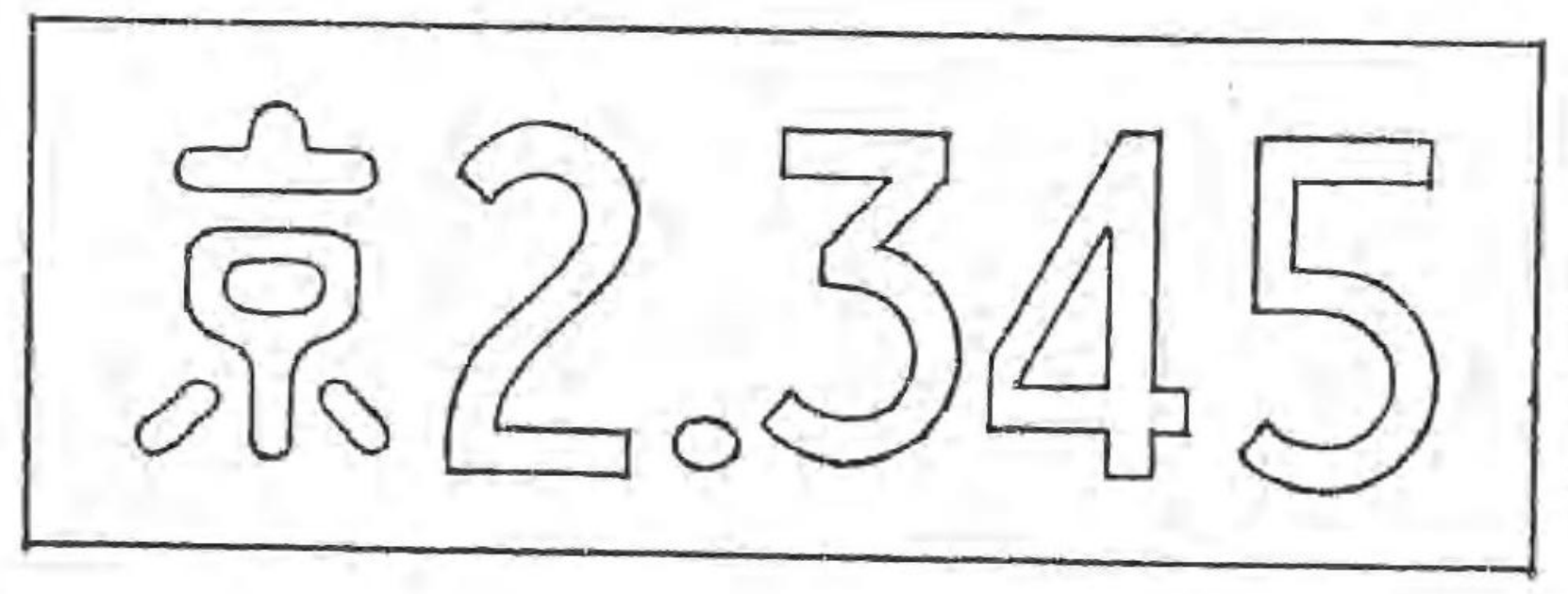
四　型式欄ニハ年式及箱型、幌型、平型、三方開型等ノ別ヲ記入スルコト

五　第三十三條第二項ノ規定ニ依ル車輛檢査ニ合格シタル自動車ノ所持者ノ住所及氏名ハ使用主ノ住所氏名欄ニ之ヲ記載スルコト

六　用紙ハ洋紙トシ普通自動車ハ白色、特殊自動車ハ淡青色、小型自動車ハ桃色ト爲スコト

第二號樣式

第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號



備考

一　普通自動車ニ在リテハ黑地ニ白文字、特殊自動車ニ在リテハ淡青地ニ白文字、小型自動車ニ在リテハ白地ニ黑文字ト爲スコト

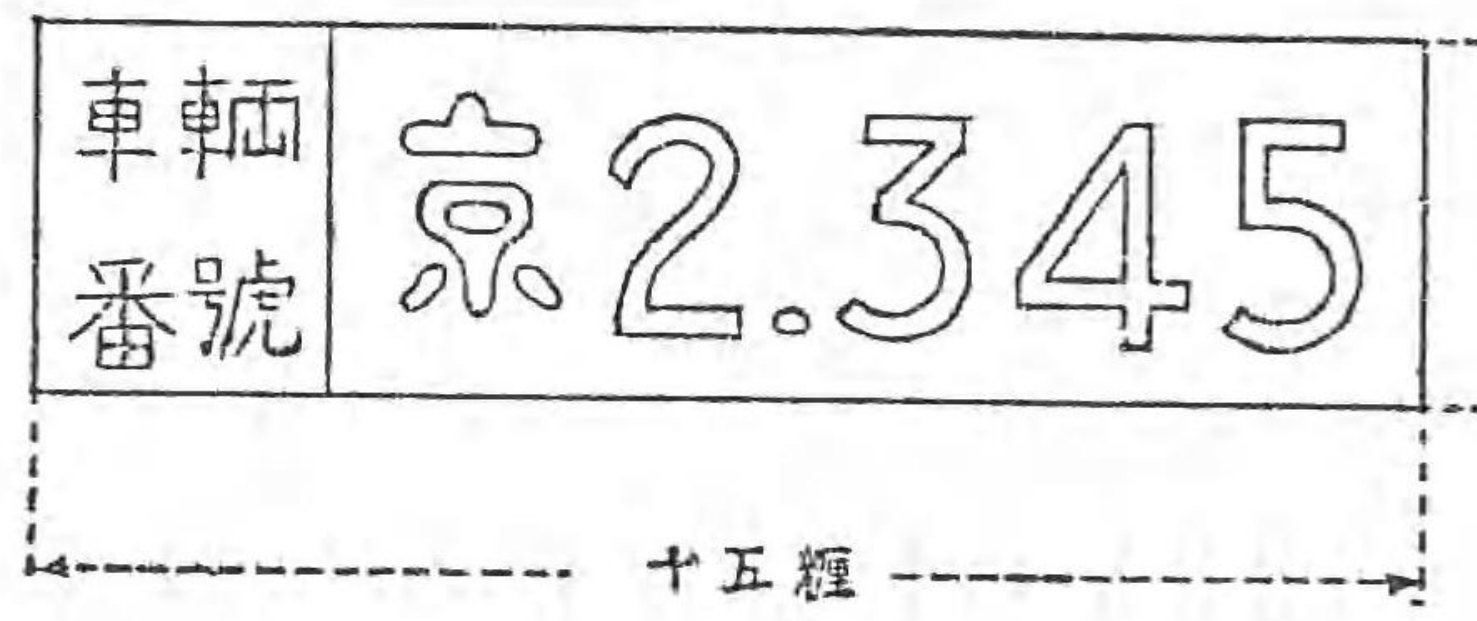
二　車輛番號ハ漢字ヲ以テ道名ノ頭字ヲ冠セシメ亞剌比亞數字ヲ以テ記載スルコト但シ他ノ道ノ頭字ヲ同ジクスル道ニ在リテハ忠淸北道ヲ忠北、忠淸南道ヲ忠南ト記載スルノ例ニ依ルコト

三　文字ノ大サハ數字ハ普通自動車ニ在リテハ縱十二糎、橫六糎、太サ一・八糎、間隔一・五糎トシ特殊自動車ニ在リテハ縱九糎、橫五糎、太サ一・二糎、間隔一糎トシ小型自動車ニ在リテハ縱八糎、橫四・五糎、太サ一糎、間隔一糎トシ何レモ千位ニハ其ノ直徑ガ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附シ漢字ハ之ニ準ズルコト

四　材料ハ金屬板ト爲スコト

第2429号 本文

第四十一條第二項ニ規定スル車輛番號



備考
一 黒地ニ白文字ト爲スコト
二 車輛番號ノ記載方法ハ第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號ニ準ズルコト
三 文字ノ大サハ適宜トシ數字ノ千位ニハ其ノ直徑ガ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附スルコト
四 材料ハ金屬板ト爲スコト

第三號樣式

車輛検査證證明書			
検査證番號	何道第 號	車輛番號	何道第 號
種別	自動車		
車名		用途	
乘車定員		積載定量	
有效期間	自 年 月 日至 年 月 日		
使用主 住所			
使用主 氏名			
備考			

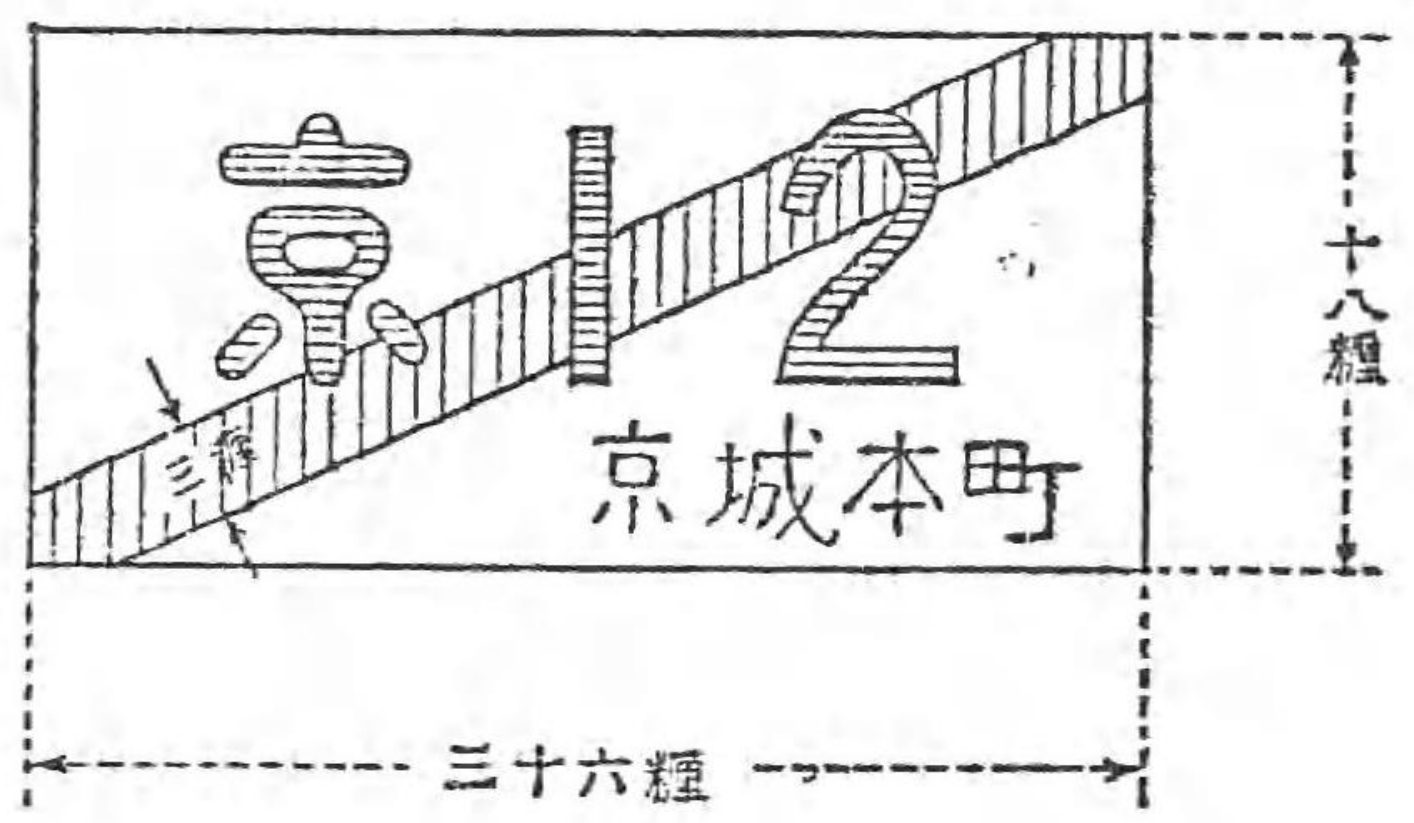
年 月 日

何警察署 印

十二糎 九糎

備考
一 種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト
二 用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第四號樣式



備考
一 白地ニ黒文字ト爲スコト
二 斜線ハ赤色ト爲スコト
三 標板ノ番號ノ記載方法ハ第二號樣式ニ準ズルコト但シ文字ノ大サハ適宜トス
四 標板右下ノ部分ニ警察署ノ略名稱ヲ記載スルコト但シ其ノ文字ノ大サハ適宜トス
五 材料ハ金屬板ト爲スコト

第五號樣式

一時運轉許可證			
種別	自動車		
車名		用途	
車輛番號	何道第 號	運轉ノ目的	
運轉日時			
運轉經路			
申請者 住所			
申請者 氏名			
備考			

年 月 日

何警察署 印

十二糎 九糎

備考
一 種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト
二 運轉ノ目的欄ニハ車輛ノ檢査、試運轉及廻送ノ別ヲ記入スルコト
三 車輛番號欄ニハ車輛番號アル場合ニ於テ之ヲ記載スルコト
四 用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第六號樣式

（表紙）

自動車運轉免許證

（免許）

十一糎 七・五糎

（表紙裏面）

第 號

年 月 日

何道 印

氏名

年 月 日生

（第一頁）

寫眞 押出シスタンプ

年 月 日撮影

（第二頁）

主タル運轉地			
屆出年月日			
何道印			

兵役	
徵集年度	
役種	
兵種	
官等級	
所屬ノ聯隊區、師團又ハ鎭守府名	

（第三頁）

本籍	住所	住所ノ異動		
		異動		
		何道印		

（第四頁）

免許事項	免許種別	有效期間
		自 年 月 日 至 年 月 日

（第五頁乃至第十頁）

備考

（裏紙内側）

注意事項

備考
一 手帳形ト爲スコト
二 表紙ハ黒色ノ革製又ハ布製ニシテ金文字入ト爲スコト
三 用紙ハ洋紙トシ普通免許證ハ白色、特許免許證ハ淡青色、小型免許證ハ桃色ト爲スコト

第七號樣式

（表面）

第 號

自動車假運轉免許證

何道 印

注意事項

二十四糎 十一糎

（裏面）

朝鮮外行政官廳運轉免許證			
指定自動車	種別	自動車	
指定自動車	車名		
指定自動車	車輛番號	何道第 號	
備考			

寫眞 押出シスタンプ

年 月 日撮影

交付	年 月 日
有效期間	自 年 月 日 至 年 月 日
本籍又ハ國籍	
居所又ハ滯在地	
氏名	
年齡	

備考
一 種別欄及車名欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト
二 用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第八號樣式

（表面）

自動車運轉免許證證明書		
種別		
免許證番號		何道第　　號
有效期間		自　年　月　日至　年　月　日
運轉者	本籍	
	住所	
	氏名	
	生年月日	年　月　日生
備考		

年　月　日

何警察署 ㊞

十二糎

九糎

（裏面）

寫

眞

割

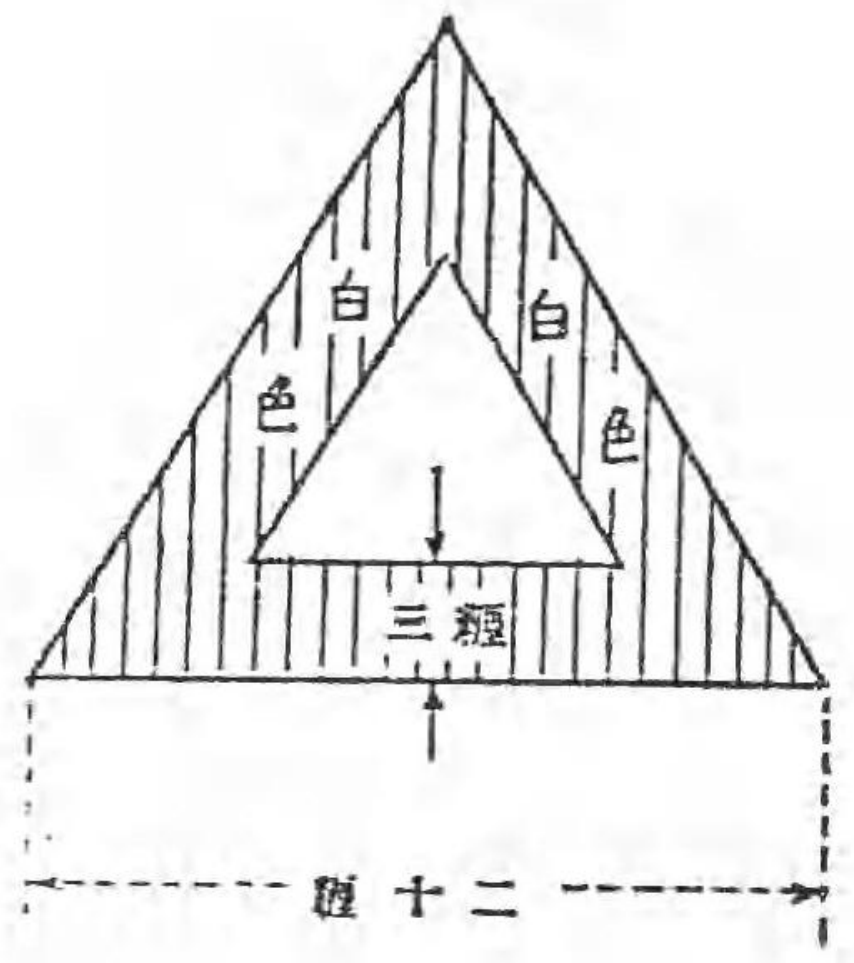
印

年　月　日撮影

備考

用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第九號樣式



第十號樣式

自動車制限外積載許可票

一　車輛番號　何道第　　號

一　許可事項

一　運轉經路

一　運轉日時

年　月　日

何警察署 ㊞

十五糎

二十糎

備考

一　許可事項欄ニハ定員外乘車何名、定量外積荷何瓩、制限外長サ、幅、高サ何米等ト記載スルコト

二　材料ハ木板、厚紙其ノ他適當ナルモノト爲スコト

第十一號樣式

（表面）

第　　號

自動車就業免許證

本籍

住所

氏名

年月日生

何道 ㊞

交付年月日

（裏面）

運轉免許證ノ種別、番號及有效期限	免許何道第　號　年　月　日迄	何道 ㊞
就業地ノ異動	屆出　年　月　日	何道 ㊞
住所ノ異動	異　動	何道 ㊞
備考		

十四糎

九糎

備考

用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第十二號樣式

自動車就業免許證證明書		
免許證番號		何道第　　號
運轉免許證ノ種別、番號及有效期限		免許何道第　號 年　月　日迄 免許何道第　號 年　月　日迄
就業者	本籍	
	住所	
	氏名	
	生年月日	年　月　日生
備考		

年　月　日

何警察署 ㊞

十二糎

九糎

備考

用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

告示

◎內務省告示第三十八號

左ノ區域ニ昭和十年二月二十八日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

神奈川縣三崎町

◎內務省告示第三十九號

左ノ區域ニ昭和十年二月二十八日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行令第三十一條及同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

三重縣松阪市

◎內務省告示第四十號

左ノ區域ニ昭和十年二月二十八日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行令第三十一條及同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

靜岡縣小山町

◎內務省告示第四十一號

左ノ區域ニ昭和十年二月二十八日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行令第三十一條及同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

靜岡縣中泉町

◎內務省告示第四十二號

左ノ區域ニ昭和十年二月二十八日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行令第三十一條及同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

靜岡縣下田町

◎內務省告示第四十三號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ宮崎縣南鄉村ヲ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

◎內務省告示第四十四號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ宮崎縣南鄉村ノ區域ヲ以テ南鄉都市計畫區域トス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

◎內務省告示第四十五號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ宮崎縣北方村ヲ指定ス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

◎內務省告示第四十六號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ宮崎縣北方村ノ區域ヲ以テ北方都市計畫區域トス

昭和十年二月八日　　內務大臣　後藤　文夫

◎大藏省告示第三十四號

私設保稅工場ニ於ケル作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類追加ノ件左ノ通許可アリタリ

昭和十年二月八日　　大藏大臣　高橋　是淸

一、保稅工場ノ位置、名稱及許可年月日　神戶市南逆瀨川町二丁目五百二十一番地　日本家畜飼料株式會社私設保稅工場　昭和十年一月十九日

一、追加スヘキ貨物ノ種類

（イ）外國貨物　裸麥、洋麥、燕麥

（ロ）內國貨物　玉蜀黍

◎大藏省告示第三十五號

富山縣射水郡能町村字荻布川開六百八十九番地所在荻布合名會社私設保稅倉庫ハ昭和

第2429号　本文

十年一月二十五日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十年二月八日　大藏大臣　高橋　是淸

◎大藏省告示第三十六號

私設保稅工場ニ於テ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類追加ノ件左ノ通許可アリタリ

昭和十年二月八日　大藏大臣　高橋　是淸

一、保稅工場ノ位置、名稱及許可年月日　大阪市西區西道頓堀通三丁目二番地　合資會社米田商店私設保稅工場　昭和十年一月十五日

一、追加スヘキ貨物ノ種類

外國貨物　燕麥

◎大藏省告示第三十七號

豐橋市北島町字北島二百九十三番地所在豐橋飼料合名會社私設保稅工場特許期限ヲ昭和十三年一月二十日迄延長ノ件昭和十年一月二十一日許可アリタリ

昭和十年二月八日　大藏大臣　高橋　是淸

◎大藏省告示第三十八號

保稅工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ

昭和十年二月八日　大藏大臣　高橋　是淸

一、特許年月日　昭和十年一月二十三日

一、經營者　西宮市若松町二十一番地　北川淺吉

一、保稅工場ノ位置及面積　大阪市住吉區柴谷町八十六番地ノ一　千百十六坪五合

一、建設物ノ棟數及坪數　一棟　六坪

一、作業ノ種類　船舶ノ解體

一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類

（イ）外國貨物　船舶

（ロ）內國貨物　解體ニ必要ナル酸素竝ニ「カーバイト」、吹綱、其ノ他包裝用材料

一、特許期限　昭和十年五月二十二日

◎陸軍省告示第四號

昭和三年陸軍省告示第十二號中左ノ通改正ス

昭和十年二月八日　陸軍大臣　林　銑十郞

學校ノ區分欄中「南都正強中學」ノ次ニ

「東京府立四中夜間中學
東京府立七中夜間中學
山形縣立山形夜間中學
長崎高等商業學校貿易別科」ヲ加フ

（參照）

昭和三年五月十六日陸軍省告示第十二號ハ兵役法施行令第百條第二號ニ該當スル學校ニシテ兵役法施行規則第二百十四條第一項ニ揭クル學校以外ノ學校又ハ兵役法施行令第百條第三號ニ該當スル學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齡ノ件ナリ

◎陸軍省文部省告示第二號

兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依リ左ノ學校ヲ認定ス

昭和十年二月八日　陸軍大臣　林　銑十郞　文部大臣　松田　源治

學校名	位置
東京府立四中夜間中學	東京市牛込區市谷加賀町
東京府立七中夜間中學	同向島區寺島町一丁目
山形縣立山形夜間中學	山形市六日町

◎文部省告示第十九號

職業學校規程ニ依リ左記實業學校ヲ設置シ昭和十年四月ヨリ開校ノ件昭和十年二月五日認可セリ

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

名稱　新名高等家政女學校
位置　神奈川縣足柄下郡小田原町
設立者　新名百刀外一名
修業年限　四年
入學資格　尋常小學校卒業程度

◎文部省告示第二十號

愛知縣名古屋市中區東橋町ニ設置セル愛知高等女子工藝學校ノ設立者ヲ昭和十年一月三日ヨリ竹內刃ニ變更ノ件昭和十年二月五日認可セリ

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

◎文部省告示第二十一號

福岡縣直方市大字山部ニ設置セル福岡縣直方商業學校ノ設立者ヲ財團法人福岡縣直方商業學校ニ變更シ修業年限ヲ昭和十年四月一日ヨリ左ノ通變更ノ件昭和十年二月五日認可セリ

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

修業年限　第一本科五年　第二本科三年

◎文部省告示第二十二號

福島縣福島市大字福島ニ設置セル社團法人私立福島成蹊女學校ノ修業年限ヲ昭和十年四月ヨリ四年ニ變更ノ件昭和十年二月六日認可セリ

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

◎文部省告示第二十三號

商業學校規程ニ依リ左記實業學校ヲ設置シ昭和十年四月ヨリ開校ノ件昭和十年二月六日認可セリ

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

名稱　市川實業學校
位置　千葉縣市川市大字市川
設立者　伊東敎順外一名
修業年限　三年
入學資格　尋常小學校卒業程度

◎文部省告示第二十四號

小學校敎科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校敎科用圖書中左ノ通定價ヲ定ム

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

尋常小學修身書　敎師用　卷一　金十四錢

◎文部省告示第二十五號

師範學校中學校高等女學校敎員檢定規程ニ依リ左記學科目ニ就キ第六十二回師範學校中學校高等女學校敎員試驗檢定ヲ施行ス受驗出願者ハ本年三月十一日迄ニ右規程第四條ニ依リ豫備試驗ヲ受クヘキ者ハ其ノ受驗地ノ地方廳其ノ他ノ者ハ便宜ノ地方廳ニ願書ヲ差出スヘシ地方廳ハ本年三月二十六日迄ニ當省ニ到達ノ日取ヲ以テ之ヲ進達スヘシ

願書當省ニ到達ノ後ハ事由ノ如何ニ拘ラス受驗地ノ變更ヲ許サス

昭和十年二月八日　文部大臣　松田　源治

試驗檢定施行學科目

公民科　敎育　國語漢文ノ內習字　理科及理科ノ內各部　圖畫及圖畫ノ內各部　手工　音樂　作業科　體操ノ內體操、敎練、劍道

（備考）本號廣告欄揭載豫備試驗日時割竝ニ出願者注意ヲ參照スヘシ

◎農林省告示第五十二號

耕地整理法第三條ノ二但書ノ規定ニ依リ左ノ地域ヲ指定ス

昭和十年二月八日　農林大臣　山崎達之輔

大字	字	地番
長野縣上田市		
小牧	外手、裏田、本麥田	以上各字全部ノ土地
同	上川原	四一六ノ二乃至四一七、四一八乃至四三一、四三一ノ二乃至四四二
同	山下	五〇一ノロ
同	四ツ家	六五四ノ三乃至六七七、六七八ノ二乃至六八三ノロ、六八四ノロ乃至六九三ノ一三
同	松ノ木	一一九〇ノ二乃至一一九〇ノ四
諏訪形	南冷田、北冷田、上道又木、下道又木、法泉海道、雲雀、荒神前、池田、東五丁目、西五丁目、中瀨、澁取田、道近田、廢道、花ノ木、小森、久保田、中澤、深町、東粟口、西粟口、砂田、久保代、宮田、南中田、堂前、前村、石田、桝尻、畦倉、上和子、下和子、梅原、二反田、柳田、北下田、下田、南下田、若宮、中田、南田中、北中田	以上各字全部ノ土地
御所	上滿丁、中滿丁、下滿丁、上辻、下辻、稗田、橫堰	以上各字全部ノ土地
同	木ノ下	三七六ノ一乃至三九五ノ二
中之條	山根、鉄砲、中澤、上前田、關石、額田、破々下、大長田、一ノ口、久々田、大境、木ノ田、下前田、三反田、西前田、中前田、姥懷、女夫池	以上各字全部ノ土地

◎遞信省告示第二百七十號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
上蒲刈郵便局	廣島縣安藝郡上蒲刈島村
八鉾郵便局	同比婆郡八鉾村
東郵便局	島根縣簸川郡東村
津ノ井郵便局	鳥取縣岩美郡津ノ井村
山守郵便局	同東伯郡山守村

◎遞信省告示第二百七十一號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
古里郵便取扱所	東京府西多摩郡古里村	古里郵便局

◎遞信省告示第二百七十二號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務及電話交換業務ヲ開始ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
古里郵便局	東京府西多摩郡古里村

◎遞信省告示第二百七十三號

昭和十年二月十日限リ左記電話所ヲ廢止ス但シ當該電話所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	承繼局
古里電話所	東京府西多摩郡古里村	古里郵便局

◎遞信省告示第二百七十四號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
伊佐郵便取扱所	兵庫縣養父郡伊佐村（八鹿局集配區內）
秋津川郵便取扱所	和歌山縣西牟婁郡秋津川村（下芳養局集配區內）

◎遞信省告示第二百七十五號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
鶴巢郵便取扱所	宮城縣黑川郡鶴巢村	鶴巢郵便局
南楢岡郵便取扱所	秋田縣仙北郡南楢岡村	南楢岡郵便局
羽後田澤郵便取扱所	同同田澤村	田澤郵便局
西五百川郵便取扱所	山形縣西村山郡西五百川村	西五百川郵便局
東谷郵便取扱所	新潟縣古志郡東谷村	東谷郵便局
七谷郵便取扱所	同東蒲原郡七谷村	七谷郵便局

◎遞信省告示第二百七十六號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
東平內郵便取扱所	青森縣東津輕郡東平內村	東平內郵便局
陸奧野澤郵便取扱所	同南津輕郡野澤村	陸奧野澤郵便局
三好郵便取扱所	同北津輕郡三好村	三好郵便局
內潟郵便取扱所	同同內潟村	內潟郵便局
豐間根郵便取扱所	岩手縣下閉伊郡豐間根村	豐間根郵便局
敷玉郵便取扱所	宮城縣志田郡敷玉村	敷玉郵便局
羽前廣野郵便取扱所	山形縣東田川郡廣野村	羽前廣野郵便局
濱中郵便取扱所	同西田川郡袖浦村大字濱中	濱中郵便局
中ノ澤溫泉郵便取扱所	福島縣耶麻郡吾妻村大字蠶養字沼尻山	中ノ澤溫泉郵便局
佐倉郵便取扱所	同信夫郡佐倉村	佐倉郵便局
北杵築郵便取扱所	大分縣速見郡北杵築村	北杵築郵便局

◎遞信省告示第二百七十七號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
笹間郵便局	岩手縣和賀郡笹間村
野田郵便局	同九戶郡野田村
山口郵便局	山形縣北村山郡山口村
東郷郵便局	同同東郷村
入廣瀨郵便局	新潟縣北魚沼郡入廣瀨村

◎遞信省告示第二百七十八號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ノ郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ東郷郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
羽前高崎郵便局	山形縣北村山郡高崎村

◎遞信省告示第二百七十九號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務及電話交換業務ヲ開始ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
田澤郵便局	秋田縣仙北郡田澤村

◎遞信省告示第二百八十號

昭和十年二月十日限リ左記電話所ヲ廢止ス但シ當該電話所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	承繼局
羽後田澤電話所	秋田縣仙北郡田澤村	田澤郵便局

◎遞信省告示第二百八十一號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

名稱	現在位置	移轉位置
神奈川郵便局	橫濱市神奈川區宮前町一丁目	橫濱市神奈川區高島通二丁目

◎遞信省告示第二百八十二號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス但シ速達郵便物及電報ノ配達竝呼出事務ヲ廢止シ當該事務ハ神奈川郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
橫濱驛前郵便局	橫濱市中區櫻木町七丁目（橫濱局集配區內）	東神奈川郵便局	橫濱市神奈川區神奈川通一丁目（神奈川局集配區內）

◎遞信省告示第二百八十三號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

昭和十年二月八日　遞信大臣　床次竹二郎

第2429号　本文

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
橫濱高島通二郵便局	橫濱市神奈川區高島通二丁目	神奈川青木通郵便局	橫濱市神奈川區高島通三丁目

◎遞信省告示第二百八十四號

昭和十年二月十日限リ左記郵便局保險分室ヲ廢止ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
神奈川郵便局保險分室	橫濱市神奈川區神奈川通一丁目

◎遞信省告示第二百八十五號

昭和十年二月十日限リ左記電信取扱所ヲ廢止ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	承繼局
橫濱電信取扱所	橫濱市神奈川區高島通二丁目橫濱停車場(鐵道省)	神奈川郵便局
東神奈川電信取扱所	同同東神奈川町東神奈川停車場(同)	東神奈川郵便局

◎遞信省告示第二百八十六號

明治四十年（四月）遞信省告示第二百二十三號別表第三號中東京遞信局管轄ノ項「橫濱驛前郵便局」ヲ「東神奈川郵便局」ニ改メ昭和十年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

（參照）

明治四十年（四月一日）遞信省告示第二百二十三號ハ郵便、電信及電話官署ノ經費ヲ渡切ヲ以テ當該局所長ニ交付スル件ナリ

◎遞信省告示第二百八十七號

昭和十年二月十日限リ昭和六年（七月）遞信省告示第千四百號左記第二號ノ使用局所中「橫濱驛前」ヲ削除ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

（參照）

昭和六年（七月七日）遞信省告示第千四百號ハ圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第二百八十八號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
神戶德井郵便局	神戶市灘區德井
上御影郵便局	兵庫縣武庫郡御影町大字御影字城ノ前

◎遞信省告示第二百八十九號

昭和十年一月二十二日ヨリ大正十四年（九月）遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第拾貳播州丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
北九州珠丸託送（北九州商船株式會社珠丸）	JXVB	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第二百九十號

昭和十年二月一日ヨリ大正十四年（九月）遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「共榮丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
研海丸託送（共同漁業株式會社研海丸）	JWDJ	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第二百九十一號

昭和十年二月一日ヨリ大正十四年（九月）遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「北九州珠丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第三萬世丸託送（岩田熊吉第三萬世丸）	JLEE	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第二百九十二號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

現名稱	改稱	位置
阿蘇山郵便局	阿蘇山上郵便局	熊本縣阿蘇郡黑川村大字黑川字阿蘇山

◎遞信省告示第二百九十三號

昭和六年（七月）遞信省告示第千四百號左記第二號日附印形式中「阿蘇山」ヲ「阿蘇山上」ニ、「羽後田澤」ヲ「秋田田澤」ニ改メ昭和十年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

（參照）

昭和六年（七月七日）遞信省告示第千四百號ハ圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第二百九十四號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

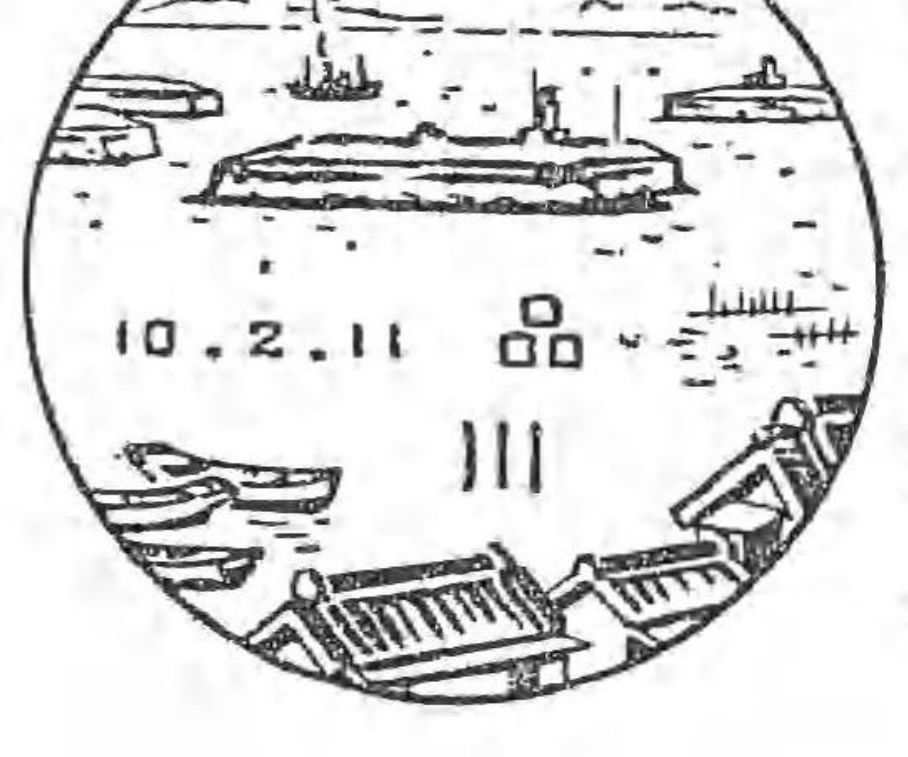
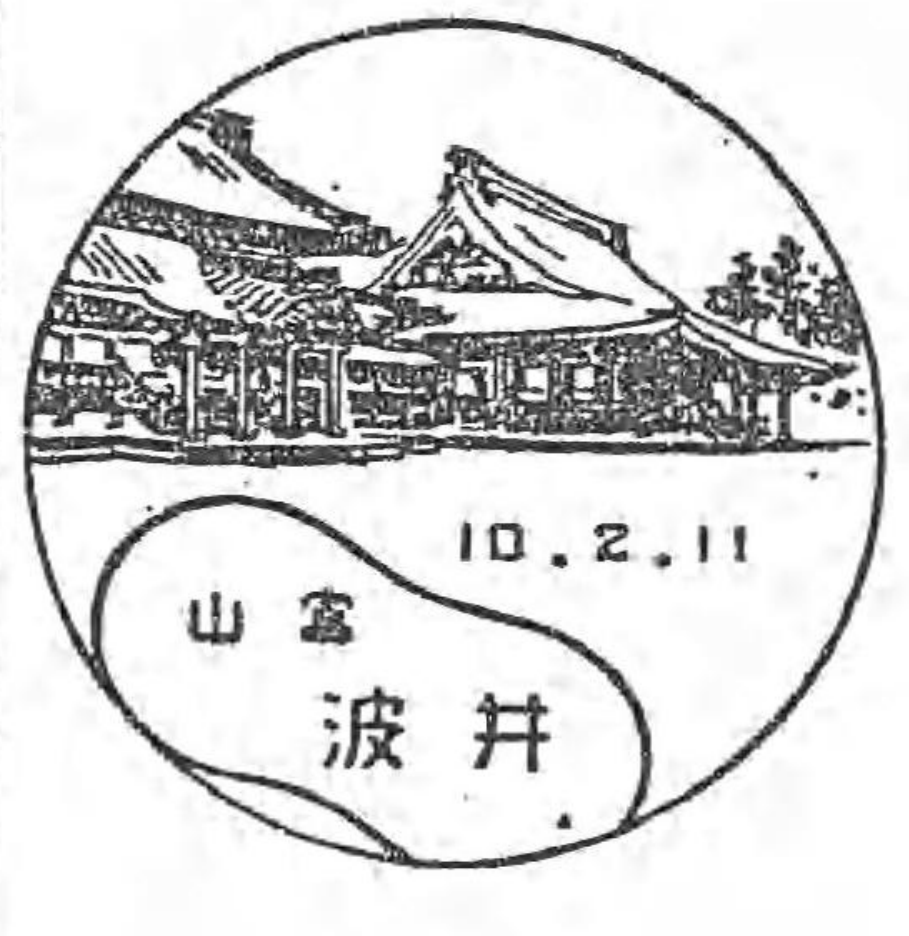
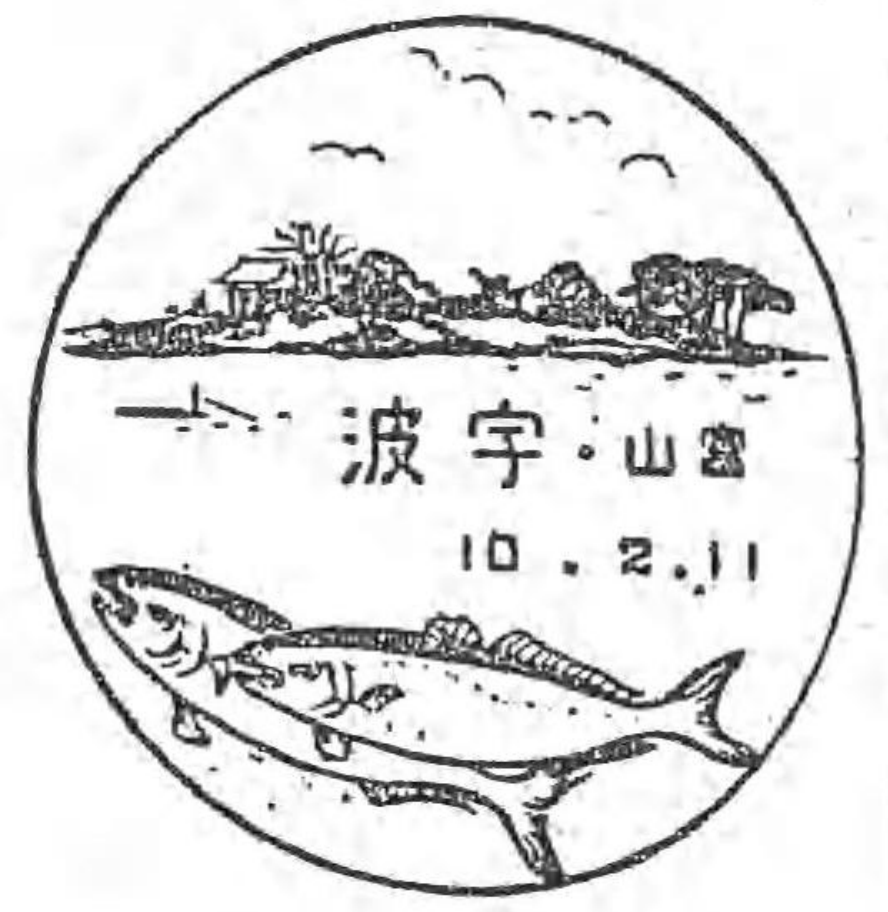
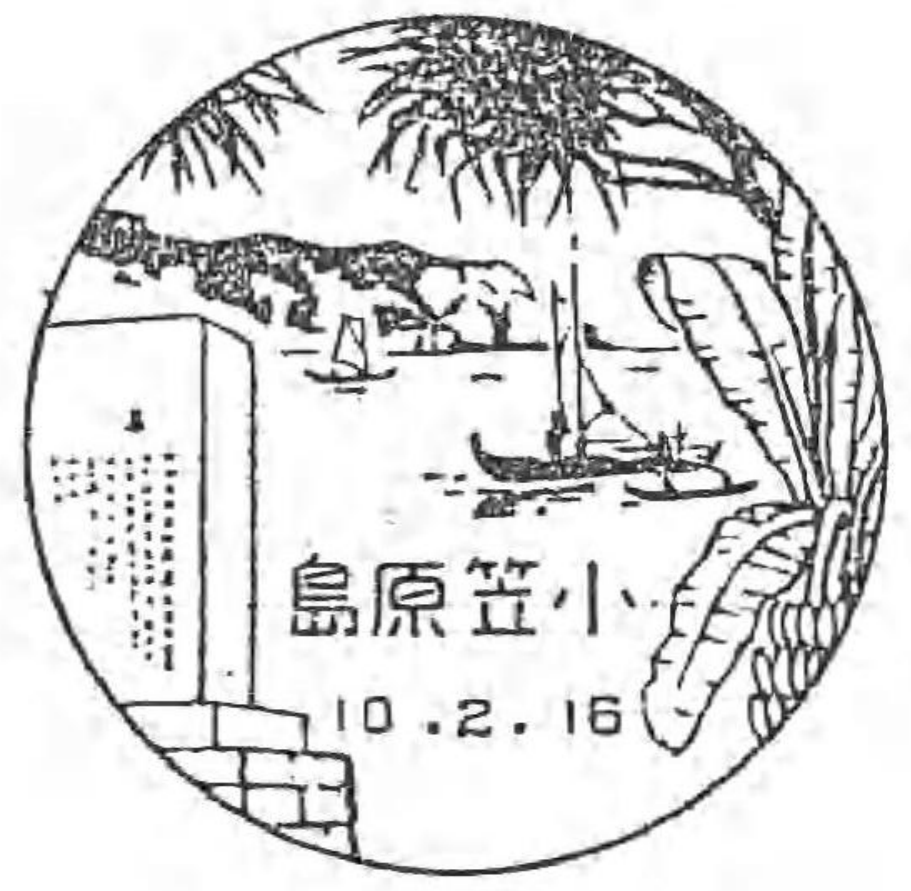
現名稱	改稱	位置
水澤郵便局	羽前水澤郵便局	山形縣西田川郡上郷村
水澤郵便局	越後水澤郵便局	新潟縣中魚沼郡水澤村
田澤郵便局	越後田澤郵便局	同同田澤村

◎遞信省告示第二百九十五號

昭和六年（七月）遞信省告示第千四百號中左記第二號「使用ニ期間ナキモノ」ニ左ノ通追加ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

使用局所	日附印形式	使用開始年月日
品川		昭和十年二月十一日
富山縣井波		同
同宇波		同
小笠原島		昭和十年二月十六日

（參照）

昭和六年（七月七日）遞信省告示第千四百號ハ圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第二百九十六號

左記郵便局ニ下記ノ日ヨリ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	實施期日
牧園郵便局	鹿兒島縣姶良郡牧園村大字宿窪田	昭和十年二月十一日
都介野郵便局	奈良縣山邊郡都介野村	昭和十年二月十六日
染田郵便局	同同東里村	

◎遞信省告示第二百九十七號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置
麻機郵便局	靜岡市大字有永

◎遞信省告示第二百九十八號

昭和十年二月十日限リ左記電話所ニ於ケル電話通話事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	承繼局
麻機電話所	靜岡市大字有永	麻機郵便局

◎遞信省告示第二百九十九號

昭和十年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
麻機郵便取扱所	靜岡市大字有永	麻機郵便局
茂呂郵便取扱所	群馬縣佐波郡茂呂村	茂呂郵便局

◎遞信省告示第三百號

外國郵便爲替金又ハ外國郵便振替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

昭和十年二月八日

遞信大臣　床次竹二郎

貨幣種別		邦貨一圓ニ對スル外國貨幣額	外國貨幣一單位ニ對スル邦貨額	
				圓
アルゼンティン貨幣	振出	一「ペソ」〇二「センタヴォ」	ペソ	九八・〇三九二
ブラジル貨幣	振出	四「ミルレイス」	ミルレイス	二五・〇〇〇〇

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◎鐵道省告示第三十號

羊毛ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十年二月八日

鐵道大臣　內田信也

一品名　羊毛

一發驛　櫻島。大阪港

一著驛　伊丹

一扱種別　貨切扱

一期間　自昭和十年二月八日至昭和十一年二月七日

一賃率　八級賃率ノ二割減

一條件　一般賃率ニ依リ通計六、〇〇〇瓲以上託送シタルモノニ對シ貨物運輸帳表竝收入拂戻取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

◎鐵道省告示第三十一號

亞鉛引鐵線外二品ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十年二月八日

鐵道大臣　內田信也

一品名　亞鉛引鐵線。有刺線。鐵釘

一發驛　玉造

一著驛　汐留

一扱種別　貨切扱

一期間　自昭和十年二月八日至昭和十年八月七日

一賃率　イ　三、〇〇〇瓲以上託送シタル場合ハ五〇〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ對シ九級賃率ノ二割八分減

ロ　五、〇〇〇瓲以上託送シタル場合ハ三、〇〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ對シ九級賃率ノ三割三分減

一條件　一般賃率ニ依リ通計前記瓲數以上託送シタルモノニ對シ貨物運輸帳表竝收入拂戻取扱手續ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

敍任及辭令

◎昭和十年一月二十九日

關根眞太郎

敍勳八等授瑞寶章

◎昭和十年二月一日

正八位　野口豐治
正八位勳八等　佐々木東市
同　大瀧謙二
正八位勳七等功七級　小堀若太郎
正八位勳七等　下村德三郎
正八位　吉井武夫
正八位勳八等　田中新右衛門
正八位勳五等　戶矢崎林作
正八位勳六等　黑川清武
正八位勳五等　淸田榮松
同　工藤石藏
正八位勳六等　本田佐三
正八位勳五等　松井丈吉
正八位勳六等　板井範次郎
正八位勳五等　谷丑松
正八位勳六等　阿部彌平治
同　齊藤末吉
同　脇田新左エ門
同　室野猛
同　田中秀次
同　渡邉四郎
正八位勳七等　松井敬一
正八位　大賀征
正八位勳八等　小田倉一
正八位　坂本六兵衛

第2429号　本文

同　奥村謙二
同　西川嘉一郎
正八位勳八等　佐藤勇吉
正八位　清水小間
同　石塚與三兵衛
正八位勳八等　吉野作藏
正八位勳七等　川村兼五郎
正八位　篠崎勘助
同　影山園
正八位勳八等　並木與一
同　芥川準一郎
正八位勳七等　關原利榮
同　西山與八郎
同　龜山政八
正八位勳八等　磯部利三郎
正八位　菅沼正俊
同　渡邊泰亮
正八位勳八等　金澤昌次
正八位　山崎三男吉
同　關久
正八位勳八等　大竹省吾
正八位　古川五十雄
同　山田實義
同　市川俊雄
同　平澤精治
同　佐藤直次
同　品田龠策
同　小林殖
同　草間道之輔
正八位勳八等　渡邊政一郎
正八位　內山政之介
同　岩澤良作
同　鷲頭貞一
正八位勳八等　鈴木榮次
正八位　宮本美治
同　木內裕二
同　山本武雄
同　瀧澤壽三
正八位勳八等　小山進
正八位　長坂利郎

同　藤森省吾
同　伊藤粂輔
同　矢澤厚
同　原和海
同　小松直志
同　小林國男
同　兩角丑助
同　小松進
同　菅沼知至
同　掛川常三郎
正八位勳八等　河野柳吉
正八位　渡邊親治
同　田中勇治
同　小原福治
同　小林政雄
正八位勳八等　上田政一
正八位勳七等　齋藤利信
同　矢田一法
正八位勳八等　望月唯吉
同　小林覺
正八位　山中信俊
正八位勳八等　淺川重制
同　今井傳
同　宮下開一
同　山下昶
同　窪田德造
同　向井光汎
正八位勳七等　後藤珉太郎
正八位勳八等　濱田朝好
正八位　日下猪六
同　原田龍八
同　西井利市
同　松田國太郎
同　東倉正衞
同　南正實
同　朴魯泰
正八位勳八等　大竹通
正八位　上野要
正八位勳八等　柳田茂一
正八位　中村廣三

同　細小路丑松
正八位勳八等　橋本正一郎
正八位　木下豊助
同　馬場末松
同　草野佳政
同　津田達造
同　齋藤要
正八位勳八等　室井恒次
正八位　二階堂英一
同　圓谷光衞
正八位勳八等　山內昇
正八位　柳沼德實
同　郡司輸一郎
同　門馬禎
同　柴原清治
同　渡部新盛
同　齋藤廣吉
同　鈴木豊藏
正八位勳八等　川島五作
同　日野貞次郎
正八位　松井鶴治郎
同　上杉拾太郎
同　荒川種一
同　石原金磨
同　久米佐門
同　渡辺德次郎
同　野崎守太郎
同　吉住總三郎
同　青木賢司
同　小川弼一郎
同　兵藤正應
同　中村良德
同　關昭
同　保田廣雄
同　佐々木秀哉
同　山口東市
同　鈴木嚴
同　古谷孝三
同　島野一郎
同　澁野多賀次

（各通）

同　岡田直次郎
同　八木清八
同　大西齋助
同　川瀨一郎
同　林信治
同　辻本嘉藏
同　黑田實之
同　石橋內藏之助
正八位勳八等　小出植男
正八位　小原英太
同　渡邊誠一
同　佐藤經雄
同　藤井義海
同　箕浦良緣
同　小玉賢道
同　松下恭二
勳七等　野元三子雄
林馨
井上開了
石川季
石川忠
石田惠一
石田哲一
池田浩三
市川四郎
入江菊之助
林三夫
原定夫
畠中二郎
西川美數
仁分百合人
細野良久
堀越良吾
千葉實二
中條禮次郎
陳明清
林挺生
大曲壯次郎
大澤一郎
大津賀善次郎

小川善吉
小川四郎
岡正毅
岡部行男
岡崎格
岡林次郎
長田榮弘
荻野央
脇田忠
脇屋壽夫
渡邊雄
加藤正郎
加藤久雄
河本文夫
河內三男
金谷修一
金田宇佐美
神山欣治
神野嘉直
上月一男
上村照昌
香取嘉久男
横江文幹
高橋英明
高橋雅男
高野一郎
田淵洋海
竹島四郎
竹田準二郎
武內孝之
楢原由之
村上喜夫
武藤鹿三
氏家文一郎
野呂淸一
久利磬
倉橋美紀
山口弘三
山口正章
安田道直

柳川眞佐夫
松本正一
福島逸雄
小西太郎
遠藤吉彥
寺西博
荒川省三
澤田隆義
澤井種雄
鮫島眞男
宮武敏行
島方武夫
神保泰一
樋口勝
望月錄郎
關之
鍛治四郎
成瀨欽治
杉藤豊治
於保不二雄
大森忠夫
中田淳一
谷村正義
上野正夫
阿部達一
堂本敏雄
咸德仲
川內善次郎
宇都宮與會治
波多江信廣
松岡清也
勳七等功七級　宮崎高德
岡村峻
喜田新六
福井幸成
出原仁
田中源次
村上甚平
三浦武治
久納丑松

伊澤猛三郎
澁谷和夫
横田章臣
栗山榮一
芳岡良晉
鈴木正雄
進稔
中野定雄
川野卯一
北村實
田野健兒
江頭作平
布川壽
保阪正武
若井冽
中村一勇
西村靜夫
小林義雄
阿部本生
市川秀一
飯塚丈夫
財原愛治
池浦松太郎
田添むめ
松元有壁
館山清
三好吉重
兼清舜逸
東城守
村松七郎
吉村半三郎
佐川豊太郎
西方貞直
西山辨造
鈴木六助
鶴卷忠道
敍從七位

◎昭和十年二月六日

從六位勳六等　西山欽藏
敍正六位

海軍中尉從七位　杉本昇
任海軍大尉
從七位　杉本昇
敍正七位
正七位　杉本昇
（各通）
勳七等　駒田新吉
同　山下淺次
敍勳六等授單光旭日章
菅芳太郎
敍勳八等授白色桐葉章

◎昭和十年二月七日

關東法院判官正五位勳四等　杉浦忠雄
任判事
敍高等官二等
判事正五位勳四等　鹿島鶴之助
任關東法院判官
敍高等官二等
關東局屬從七位勳八等　川島周二
兼任關東遞信官署遞信副事務官
敍高等官六等

判事　佐藤元吉
同　大原利文
同　齊藤三郎
同　豊水道雲
同　織田嘉七
同　細野長良
（各通）
同　井野英一
同　沼義雄
同　岡村玄治
檢事　增田暾彥
同　緒方省一郎
同　槇田麟二
陞敍高等官一等
九州帝國大學教授　久保猪之吉
同　君島八郎
（各通）
朝鮮總督府道技師　荒木又三郎
依願免本官
臺灣總督府屬兼臺灣總督府地方理事官　高橋正邦
依願免兼官

臺灣公立中學校教諭　大西五百里
北海道廳技師　田村　稔
（各通）
依願免本官（以上二月七日內閣）

故海軍少佐從六位勳六等　西山　鉄藏
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル

侍從武官　小林　謙五
横須賀海軍航空隊ヘ被差遣（以上二月七日宮內省）

掌典　大關　春雄
神宮祈年祭ニ付勅使トシテ參向被仰付（二月七日同）

北海道廳技師　田村　稔
九級俸下賜（二月七日內務省）

參謀本部員兼陸軍大學校兵學教官陸軍歩兵中佐　宮崎繁三郎
兼補陸軍通信學校教官

歩兵第十五聯隊附陸軍歩兵少佐　生駒　林一
歩兵第三十七聯隊大隊長陸軍歩兵少佐　笠原　豊
歩兵第五十七聯隊附陸軍歩兵少佐　一木　清直
歩兵第二十七旅團副官陸軍歩兵大尉　松浦　龍一
歩兵第七十四聯隊機關銃隊長陸軍歩兵大尉　中村　助之
（各通）
陸軍歩兵學校附被仰付

歩兵第三十七聯隊附陸軍歩兵少佐　龜井　政喜
補歩兵第三十七聯隊大隊長

歩兵第四十一聯隊副官陸軍歩兵少佐　高畑　洋平
補歩兵第四十一聯隊大隊長

歩兵第四十一聯隊附陸軍歩兵少佐　植田　齊
補歩兵第四十一聯隊副官

陸軍歩兵學校教導隊機關銃隊長兼同校教官同校研究部部員陸軍歩兵少佐　鍛治川　学
陸軍歩兵學校附被仰付

陸軍歩兵學校教官兼同校研究部部員陸軍歩兵大尉　中村　五郎
補陸軍歩兵學校教導隊機關銃隊長兼同校教官（兼同校研究部部員如故）

歩兵第八聯隊附陸軍歩兵大尉　辻　久太郎
兵庫縣立淡路實業學校兼兵庫縣洲本商業學校服務ヲ免ス

同　平山　武士
兵庫縣立淡路實業學校兼兵庫縣洲本商業學校服務ヲ命ス

歩兵第三十七聯隊中隊長陸軍歩兵大尉　富田　實
歩兵第三十七聯隊附被仰付

歩兵第三十七聯隊大隊副官陸軍歩兵大尉　松本總三郎
補歩兵第三十七聯隊中隊長

歩兵第四十四聯隊大隊長陸軍歩兵少佐　楠瀨　正實
歩兵第四十四聯隊附被仰付

丸龜聯隊區副官陸軍歩兵少佐　福永　勇吉
丸龜聯隊區司令部附被仰付

歩兵第十二聯隊副官陸軍歩兵少佐　八木淸一郎
補歩兵第四十四聯隊大隊長

歩兵第十二聯隊附陸軍歩兵少佐　片山憲四朗
補歩兵第十二聯隊副官

歩兵第十二聯隊機關銃隊長陸軍歩兵大尉　島田仁市郎
補丸龜聯隊區副官

歩兵第十二聯隊中隊長陸軍歩兵大尉　渡部　市藏
補歩兵第十二聯隊機關銃隊長

德島聯隊區副官陸軍歩兵少佐　恒岡小文吾
補德島聯隊區司令部員

歩兵第四十三聯隊附陸軍歩兵大尉　田村　多郎
補德島聯隊區副官

陸軍騎兵少佐　尹　相弼
依願豫備役被仰付

陸軍歩兵少尉　山口　正雄
陸軍騎兵少尉　橋本　正
（各通）
依願退役被仰付（以上二月七日陸軍省）

東京控訴院檢事檢事　鈴木　祐彦
公證人懲戒豫備委員ヲ命ス

司法官試補　田中　良男
依願免司法官試補（以上二月七日司法省）

豫備判事（千葉）　荻野　央
豫備判事（水戸）　倉橋　美紀
（各通）
東京地方裁判所兼東京區裁判所勤務ヲ命ス
（二月七日同）

新潟醫科大學助教授　須田　經宇
本俸九級俸下賜

名古屋醫科大學助教授　林　勝三
同　赤崎　兼義
（各通）
在外研究中俸給百分ノ四十ヲ支給ス

東京府知事　横山　助成
東京科學博物館評議員ヲ委囑ス

公立實業學校長兼公立實業學校教諭　長野　廉二
大阪市立東商業學校長兼大阪市立東商業學校教諭　大阪市立東商業專修學校長ニ補ス
（以上二月七日文部省）

九州帝國大學教授　小野寺直助
內科學第三講座分擔ヲ免シ內科學第三講座擔任ヲ命ス

九州帝國大學助教授　立木　豐
耳鼻咽喉科學講座擔任ヲ命ス（以上二月七日同）

地方商工技師　中村　三郎
石川縣商工技師ニ補ス（二月七日商工省）

公立實業學校教諭　加納四十二
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年二月四日ヨリ年功加俸年額百九拾貳圓下賜
（二月七日東京府）

地方商工技師　服部熊次郎
六級俸下賜（九年十二月二十一日兵庫縣）

社會事業主事　小田　直藏
四級俸下賜

地方農林技師　西田　悦夫
同　鴨脚　七郎
（各通）
六級俸下賜

同　向井　正生
同　青野　正男
同　齋藤定二郎
道路主事　阿曾　貫助
衞生技師　宮脇　貢
（各通）
八級俸下賜

地方農林技師　土屋　修
社會事業主事　前川　誠一
（各通）
九級俸下賜

地方農林主事　石井　定藏
地方農林技師　松崎　忠義
同　井上　良治
土木主事　石村　芳夫
道路技師兼土木技師　岡野　一
衞生技師　小牧利三郎
（各通）
十級俸下賜

地方農林主事　川戸健之祐
同　塩山　了
（各通）
十一級俸下賜

地方農林技師　大沼　建彬
年俸參百六拾圓下賜（以上九年十二月二十八日同）

道路技師兼土木技師　小池　正
同　高宮　正彦
（各通）
十級俸下賜（九年十二月二十八日同）

公立中學校教諭　金丸厚三郎
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和九年十二月一日ヨリ年功加俸年額金九拾六圓下賜
（十二月二十二日三重縣）

公立中學校教諭　吉灘　好榮
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和九年十二月二十六日ヨリ年功加俸年額壹百九拾貳圓下賜（九年十二月二十八日鳥取縣）

同　木山　愛精
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十年一月十四日ヨリ年功加俸年額壹百九拾貳圓下賜

公立實業學校教諭　住田はるの
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和九年十二月二十八日ヨリ年功加俸年額壹百四拾四圓下賜

公立高等女學校教諭　松井　義範
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和九年十二月二十七日ヨリ年功加俸年額貳百壹圓下賜（以上一月二十一日同）

公立高等女學校長　吉田　桐野
同　小谷　丈夫
六級俸下賜
八級俸下賜（以上一月三十一日和歌山縣）

宮廷錄事

◉謁見　本邦駐箚瑞西國特命全權公使ヴァルダー、ツルンヘール信任狀竝前任公使ノ解任狀捧呈ノタメ昨七日參內ニ付宮中ヨリ差廻ノ自動車ニ迎引ノ式部官ト同乘帝國ホテルヲ出テ參內御車寄階上ニ式部官ノ出迎ヲ受ケ控所ニ入リ午前十時三十分式部長官ノ誘導ニ依リ鳳凰ノ間ニ進ミ　天皇陛下ニ謁見信任狀竝前任公使ノ解任狀ヲ捧呈シ訖テ夫人同伴桐ノ間ニ於テ　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

◉拜謁竝賢所參拜　今般歐洲ヨリ歸朝ノ陸軍少將春川隆四郎外三名ハ昨七日午前十一時　天皇陛下ニ拜謁畢テ　賢所參拜仰付ケラレタリ

彙報

○官廳事項

◉處務細則中改正　鳥取縣ニ於テ去月二十八日處務細則ヲ改正シ課ノ事務分掌ヲ改メタリ

宮崎縣ニ於テ處務細則中改正シ同三十一日知事官房ニ秘書係、文書係ヲ、總務部ニ人事課、統計課、庶務課、地方課、會計課ヲ、經濟部ニ土木課、農務課、蠶絲課、商工水產課、經濟更生課、林務課、耕地課ヲ設置シ經濟部公園課ヲ廢止セリ

◉官吏改姓名　現役陸軍二等軍醫楠山勝江ハ昨九年三月六日岡野ト、豫備役同歩兵少尉土岐貞夫ハ同十五日山田ト、同航空兵少尉杉本康政ハ同五月十九日梶田ト、後備役同砲兵少尉赤津勝明ハ同九月十七日中崎ト、同歩兵中尉田口豐藏ハ同十月十八日中村ト、同少尉須崎公一郎ハ同十二月十七日田中ト、同砲兵少尉今井禮介ハ同二十二日小嶋ト、豫備役同獸生止ハ同二十四日三重野ト、後備役同歩兵少尉西村又一ハ同二十九日國本ト、豫備役同工兵少尉朝井茂男ハ去月十四日古市ト孰モ改姓シ現役同砲兵中尉田中伍一郎ハ昨九年十二月十三日禎ト改名セリ

◉官吏族籍變更　福岡縣平民長崎高等商業學校教授今村有ハ昭和七年一月二十三日長崎縣ヘ其族籍ヲ變更セリ

◉昇級　朝鮮道立醫院醫員兼朝鮮公立專門學校教授直塚日出雄、朝鮮咸鏡南道公立普通學校長（奏任待遇）朝鮮公立普通學校訓導瀧井金作ハ三級俸ニ、朝鮮平安南道公立普通學校長（同）朝鮮公立普通學校訓導黑木重雄、同樺山嵓、同天野武夫、同尾崎唯雄、同野口孝吉、同金田壽一、同西內滿太郎、朝鮮咸鏡南道公立普通學校長（同）朝鮮公立普通學校訓導樫村貞次郎、朝鮮咸鏡北道公立普通學校長（同）朝鮮公立普通學校訓導藤村隆輔ハ四級俸ニ孰モ昨九年十二月三十一日昇級セリ

◉轉任　公立實業學校長兼公立實業學校教諭石田吉三、公立高等女學校教諭石川彌太郎ハ本月一日孰モ東京府公立小學校訓導兼東京府公立小學校長ニ轉任セリ

◉退職　東京府公立小學校長山本松太郎、同福士直次郎、同下田龍雄、同石毛利內、同川井立、同森田嘉一郎、同久保田嘉藤次、同佐野信正、同尾関渠二、同增田寛次、同篠井和衞、同三橋和也、同圷音之介ハ本月一日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◉官吏卒去及死去　退役陸軍主計監從四位勳三等八木離ハ昨九年二月十三日、後備役同軍醫監從四位勳二等功四級野口謙太郎ハ同九月十日、現役同砲兵中佐從五位勳四等原田星郎ハ去月八日孰モ卒去シ　後備役同少尉正八位金子寅太郎ハ昨九年十月十五日、同三等主計正八位南喜一郎ハ同十一月二十四日、同三等軍醫正正六位勳四等功五級谷口關次郎ハ同十二月十日、同歩兵少尉正八位中塚政治、豫備役同正八位村松廣吉ハ同十三日、後備役同正八位生永正信ハ同十五日、豫備役同三等藥劑官正八位和仁古幸七ハ同二十二日、現役同航空兵少尉正八位東川竹雄ハ同二十三日、豫備役同正八位櫻井敏男ハ同二十五日、同三等軍醫正八位香川百一ハ同二十九日、現役同歩兵大尉從六位岡村孝德ハ去月十日、後備役同少尉正八位佐藤彰二ハ同十四日、現役同航空兵中尉從七位勳六等佐伯喜太治ハ同十七日、同大尉正七位井上淸ハ同十九日孰モ死去セリ

◉殉職死去　公立中學校教諭兼公立中學校舍監從六位梶原富次ハ去月二十六日死去セリ

○陸海軍

◉退役編入　海軍豫備少佐藤村総一ハ去月一日、同機關大尉杉山考平ハ同三日、同豫備大尉吉松誠一ハ同四日、同機關大尉山田胤重ハ同八日、同豫備特務少尉古田耕ハ同十日、同豫備少佐尾崎麟太郎ハ同十三日、同染川義彥ハ同十六日孰モ退役ト爲レリ（海軍省）

◉生徒採用決定者　本月二日所澤陸軍飛行學校ニ入校シタル同校操縱生徒採用者氏名左ノ如シ（陸軍省）

宇井　久
桂　元二
平山富士男
本名　新一
（航二）田中　五郎
越阪部六雄
遠藤　芳男
井田　逸夫
山越　千尋
（航二）森田　津
坂口　善明
藤村　守仲
岩崎　七郎
根本　榮一
大石　悅治
大西　義麿
磯目　順道
石井　五郎
竹花　貞雄
佐藤　義質
伊室　達生
吾妻　元良
原田　威治
長谷川新一郎
岸田喜久治
小林　俊三
小屋野文惠
村田　貞市
林　武臣
庄司謙之助
粉川　宗三
小池　秀雄
十時　鶴吉
吉田　佐一
笹岡　忠德
塚田　勝美
若山　善松
山口　友衞
首藤　一郎
北村　重雄
田井　四作
須藤　芳雄
納富　春由
村上　由吉
（歩二）山下　德通
齊藤　正午
高橋勝太郎
井上　操
武中　保
德升　喜二
高島喜久治
吉本　琢夫
吉竹　正
桐生　巳一
本間　實
小杉　陽造
藤原　武彥
（歩二）井上　善次
天川　貫
小浦　正雄
片岡　賢策
和田　春人
木待　一吉
西　哲雄
（歩二）久海東伊覺
永田　厚夫
（航上）山尾　忠治
北坂　武
野嶋　國之
木村　哲大
柿本　光男
甲斐　敬明
（航上）沼田　水義
李　根哲
川下　德男
柴垣　又雄
井內　俊二
北　光一
（航上）吉谷　正之
伊津野重男
野口喜代次
（航上）玉利　盛隆
（航上）上登能　弘
藤田　保
（航上）飯野又四郎
曾宮巳年雄
土田　末雄
竹下　義昌
元島　宗義
（航上）大川內淺雄
（航上）石山　省吾
（航上）川口　辰雄
北鶴　俊雄
上西　四郎
（航上）長谷川長四郎
（航一）中西　憲一
（航上）小山　次男
（航一）德竹　辰夫
（歩上）滿井小四郎
八反田外治

（備考）「航上」ハ「陸軍航空兵上等兵」ナルヲ示ス其他之ニ準ス

◉日本赤十字社錄事

職員異動　去月十五日東京府知事横山助成ハ東京支部長ニ、京都府知事鈴木信太郎ハ京都支部長ニ、大阪府知事安井英二ハ大阪支部長ニ、神奈川縣知事石田馨ハ神奈川支部長ニ、兵庫縣知事湯澤三千男ハ兵庫支部長ニ、長崎縣知事田中廣太郎ハ長崎支部長ニ、新潟縣知事宮脇梅吉ハ新潟支部長ニ、群馬縣知事君島淸吉ハ群馬支部長ニ、茨城縣知事安藤狂四郎ハ茨城支部長ニ、奈良縣知事一戸二郎ハ奈良支部長ニ、三重縣知事富田愛次郎ハ三重支部長ニ、靜岡縣知事阿部嘉七ハ靜岡支部長ニ、山梨縣知事土屋正三ハ山梨支部長ニ、岐阜縣知事坂間棟治ハ岐阜支部長ニ、長野縣知事大村淸一ハ長野支部長ニ、秋田縣知事兒玉政介ハ秋田支部長ニ、石川縣知事生駒高常ハ石川支部長ニ、廣島縣知事鈴木敬一ハ廣島支部長ニ、香川縣知事藤野惠ハ香川支部長ニ、愛媛縣知事大場鑑次郎ハ愛媛支部長ニ、高知縣知事泊武治ハ高知支部長ニ、熊本縣知事關屋延之助ハ熊本支部長ニ、宮崎縣知事三島誠也ハ宮崎支部長ニ、鹿兒島縣知事早川三郎ハ鹿兒島支部長ニ、北海道廳部長中村忠充ハ北海道支部副長ニ、同十九日東京府書記官宮野省三ハ東京支部副長ニ、長崎縣書記官赤土正强ハ長崎支部副長ニ、新潟縣書記官安原舜一ハ新潟支部副長ニ、栃木縣書記官山縣三郎ハ栃木支部副長ニ、三重縣書記官熊野英ハ三重支部副長ニ、愛知縣書記官栗屋仙吉ハ愛知支部副長ニ、山梨縣書記官島川高英ハ山梨支部副長ニ、岐阜縣書記官田島義士ハ岐阜支部副長ニ、長野縣書記官伊手衛ハ長野支部副長ニ、宮城縣書記官立田淸辰ハ宮城支部副長ニ、福島縣書記官出石於莵彥ハ福島支部副長ニ、岩手縣書記官淵上房太郎ハ岩手支部副長ニ、青森縣書記官渡正監ハ青森支部副長ニ、山形縣書記官荒山隆ハ山形支部副長ニ、秋田縣書記官木村淸司ハ秋田支部副長ニ、石川縣書記官麻生亮藏ハ石川支部副長ニ、富山縣書記官小早川貞登ハ富山支部副長ニ、島根縣書記官崎山省吾ハ島根支部副長ニ、岡山縣書記官林保夫ハ岡山支部副長ニ、廣島縣書記官安岡正光ハ廣島支部副長ニ、德島縣書記官足立達夫ハ德島支部副長ニ、香

第2429号　本文

川縣書記官稲垣潤太郎ハ香川支部副長ニ、愛媛縣書記官白井演ハ愛媛支部副長ニ、宮崎縣書記官眞崎長年ハ宮崎支部副長ニ、鹿兒島縣書記官田中俸ハ鹿兒島支部副長ニ總裁載仁親王殿下ヨリ孰モ囑託ノ御沙汰アリタリ（陸軍省、海軍省）

○學事

◎學位授與　岡山醫科大學ニ於テ本月二日附兵庫縣友澤辰次郞、福岡縣永光軍一郎、岡山縣河田豊ニ醫學博士ノ學位ヲ孰モ授與セリ（文部省）

○衞生

◎國際傳染病報告　本件ニ關シ去月二十五日在新嘉坡保健部東局ヨリ西貢無線電信局ヲ經テ左ノ通情報アリタリ（去月三十一日 本綱內務省）（內務省）

自一月十三日至同十九日國際傳染病狀況本表中死者ハ二週間前ノ一週間ニ於ケル數ヲ文書報告ニ依リ示ス

港及都市	「ペスト」				「コレラ」				痘瘡			
	患者	累計（一月以來）	死者	累計（同上）	患者	累計（同上）	死者	累計（同上）	患者	累計（同上）	死者	累計（同上）
香港	―	―	―	―	―	―	―	―	一	四	―	―
廣東	―	―	―	―	―	―	―	―	二	六	―	―
マカオ	―	―	―	―	―	―	―	―	一八	五四	一三	一三
蘭貢	―	一	一	一	一	三	―	―	一〇	一六	一	一
バセイン	―	―	一	一	二	六	二	二	―	―	―	―
ヴヰザガパタム	―	―	―	―	―	―	―	―	一一	六九	九	九
マドラス	―	―	―	―	九	一六	一	一	一二	二四	一	一
ネガパタム	―	―	―	―	―	―	六	一五	六	二五	―	―
コロンボ	―	―	―	―	―	―	―	―	一〇	一一	―	―
ツチコリン	―	―	―	―	一	一	―	―	三	三	―	―
コーチン	―	―	―	―	―	―	―	―	二	三	―	―
孟買	一	一	―	―	―	―	―	―	二三	五八	五	五
カラチ	―	―	―	―	―	―	―	―	―	六	一	一

（摘要）カルカッタハ報告未著

十二月十七日ポルトノーボ（印度マドラス省ニ於ケル港市）ニ於テ「コレラ」發生アリ

福建（支那本土東南部）ニ於ケル腺「ペスト」發生ニ關スル新聞紙ノ報道ハ誤報ナリ

帝國議會

○貴族院

◎書類配付　昨七日參考ノタメ左ノ書類ヲ配付（文書函ニ投入）セリ

政府貸付金處理ニ關スル法律案

◎委員會　今八日開會ノ委員會左ノ如シ

請願委員會　午前十時

○衆議院

◎議案提出　昨七日政府ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

政府貸付金處理ニ關スル法律案

又同日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

傷病軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案（江藤源九郎提出）

橿原神宮ニ於テ紀元二千六百年祭擧行ニ關スル建議案（福井甚三外六名提出）

橿原神宮崇祀ニ關スル建議案（福井甚三提出）

大和川改修速進ニ關スル建議案（福井甚三外二名提出）

國道第十五號路線改修速進竝奈良大阪間縣道國道編入ニ關スル建議案（福井甚三外一名提出）

◎委員會　今八日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員第一分科（外務省、司法省及拓務省所管）會

豫算委員第二分科（內務省及文部省所管）會

豫算委員第三分科（大藏省所管）會

豫算委員第四分科（陸軍省及海軍省所管）會

豫算委員第五分科（農林省及商工省所管）會

豫算委員第六分科（遞信省及鐵道省所管）會

請願委員會

以上午前十時

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）外一件委員會

午後一時三十分

在外公館報告

◎里昂生絲竝羽二重市況　本件ニ關シ一昨六日著里昂駐在領事友田二郎電報左ノ如シ（外務省）

生絲ハ買人一服模樣閑散相場白繭絲十四中裾物五〇法見當、同十中五〇法見當

羽二重相場越前六付二四物八五法見當、加賀五付尺五物六〇法見當、福井十二匁付縮緬類ノ引合少量

觀象

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ部ー印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

二月五日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	降水量（粍）
臺北	765.6	靜穩	1	20	霧	―
那覇	761.6	北北東	5	19	曇	―
鹿兒島	765.8	北東	3	12	快晴	1
高知	763.9	靜穩	1	10	曇	―
大分	764.8	靜穩	1	10	曇	―
多度津	763.6	西南西	7	9	曇	―
廣島	764.6	靜穩	1	6	曇	1
大阪	763.5	南西	5	8	曇	―
長崎	765.3	西北西	6	10	曇	―
福岡	765.7	南東	2	4	雨	4
濱田	763.7	南西	8	6	雨	1
名古屋	762.9	西南西	4	8	曇	―
橫濱	758.8	南南東	2	8	曇	―
東京	758.8	南	3	8	曇	―
銚子	758.5	南南西	2	10	霙	―
長野	760.7	靜穩	0	2	雪	6
前橋	758.2	北西	3	11	曇	―
宇都宮	758.1	南西	7	8	曇	―
福島	758.2	南西	2	6	雨	1
福井	762.6	南	2	4	雪	30
新潟	759.6	北西	10	4	雨	8
秋田	759.2	北北西	2	0	雪	7
石卷	757.0	靜穩	1	−6	曇	―
盛岡	757.7	南南西	3	1	曇	―
青森	757.6	西	8	−2	雪	7
函館	755.8	西	8	1	雪	1
札幌	754.9	北北西	4	0	曇	―
旭川	753.2	南南西	3	−2	雪	7
根室	752.5	北	3	−3	雪	2
大泊	754.2	東北東	12	−7	曇	―
釜山	764.6	北	3	5	烟霧	―
仁川	768.7	北北西	9	−2	快晴	―
元山	764.7	西北西	7	−4	快晴	―
城津	762.4	南南西	4	−6	快晴	―
新義州	771.0	北北西	6	−8	快晴	―
大連	772.4	北	6	−5	快晴	―
奉天	772.6	北	6	−13	快晴	―
新京	769.3	北西	5	−16	快晴	―
天津	773.0	北	2	1	快晴	―
青島	771.8	北西	4	0	快晴	―
上海	769.5	北北東	5	9	曇	―

◎東京氣象

二月五日　天氣概況　晴一時曇

平均氣壓（海面ノ度）	七五八・七粍
平均氣溫	三・九度　平年ヨリ一・〇度高シ
最高氣溫	九・四度
最低氣溫	二・八度
前五日間平均氣溫	三・一度　平年ヨリ〇・二度高シ
平均濕度	六八％
平均水蒸氣張力	三・七粍
平均雲量	三・二
日照時間	四・八時
平均風速度	一・二米
最大風速度	三・二米
最多風向	南南西
降水總量	―
一時間最大降水量	―
記事	朝間霜アリタリ

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

昭和十年一月二十九日內務大臣ノ事業認定公告ニ係ル東京橫濱電鐵株式會社起業鐵道敷設ノ爲メ收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和十年二月八日　東京府知事　橫山助成

土地細目

東京市澁谷區並木町二一番、同番ノ二宅地

昭和十年一月十九日內務大臣ノ事業認定公告ニ係ル千葉縣起業蠶業試驗場支場設置ノ爲收用スヘキ土地細目左ノ如シ

昭和十年二月八日　千葉縣知事　石原雅二郎

土地細目

安房郡鴨川町大字横渚字大久保一七二八番ノ一、一七二七番畑

昭和十年一月十六日內務大臣ノ認定公告ニ係ル山口縣起業溜池新設及道路改築ノ爲メ收用スヘキ土地細目左ノ如シ

昭和十年二月八日　山口縣知事　菊山嘉男

收用スヘキ土地細目

山口縣玖珂郡柳井町大字柳井字安通第二四一四番ノ二山林

廣告

◎自動車交通事業財團

神奈川縣鎌倉郡深澤村手廣六一四番地日本自動車株式會社ヨリ旅客自動車運輸事業及自動車道事業ニ付自動車交通事業財團組成ノタメ其財團ニ付所有權保存登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ向フ三十二日間ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ右財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十年二月八日　橫濱區裁判所藤澤出張所

◎工場財團

北海道紋別郡遠輕町字白瀧二股市街地千七百十五番地布田富藏ヨリ北海道紋別郡遠輕町字白瀧原野千七百十五番地ノ一所在ノ布田木工場ニ屬スル土地、工作物竝ニ機械器具等ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存登記ノ申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ昭和十年三月二十日マテニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十年二月八日　野付牛區裁判所上湧別出張所

◎檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷册	發行年月日	定價
昭和10、1、二六（昭和八、一二、二六檢定濟ノモノ修正）	師範學校 中學校 高等女學校　地理科	新制最近日本地圖　改訂版	一冊	昭和10、1、二〇　修正六版	一・二〇錢
同（昭和八、一一、一一同）	中學校　同	新制最近日本地理　改訂版（乙表準據）	一	同　同	一・三四
同（昭和八、一一、一七同）	同　同	同　改訂版（甲表準據）	一	10、1、三一　修正四版	一・二〇
同（昭和八、一二、二同）	實業學校　同	新制最近日本地圖　改訂版	一	10、1、二〇　修正六版	一・二〇

以上著者　三省堂編輯所

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷册	發行年月日	定價
10、1、二六	中學校　歷史科	新編中等西洋史　甲乙併用	一	10、1、二四　修正再版	一・二四

右著者　時野谷常三郎

檢定年月日	目的ノ學校竝學科ノ種類	圖書名	卷册	發行年月日	定價
同（昭和五、二、一〇檢定濟ノモノ修正）	高等女學校　地理科	女子中等日本地理　改訂版	一	10、1、二九　修正四版	一・〇〇

右著者　田中啓爾

以上發行者　東京市神田區神保町一丁目一番地　株式會社三省堂

昭和十年二月　文部省

◎第六十二回師範學校、中學校、高等女學校教員試驗檢定豫備試驗日時割竝ニ出願者注意

一、本年文部省告示第二十五號ニ依リ第六十二回教員試驗檢定豫備試驗日時割左ノ通定ム受驗者ハ本年五月二日ヨリ出願學科目試驗開始ノ前日マテ（日曜日ヲ除キ）午前九時ヨリ午後四時マテ（但シ土曜日ハ正午マテ）ノ間ニ於テ願書經由ノ地方廳（東京府經由ノ出願者ハ文部省內教員檢定委員會事務所）ニ出頭シ受驗票ヲ受取リ且ツ試驗場等ヲ承合スヘシ

前記受驗票ハ試驗ノ節必ス携帶スヘキモノニシテ若シ携帶セサルトキハ試驗場ニ入ルヲ許サヽルコトアルヘシ

月日（曜）	學科目	試驗開始時刻
五月六日（月）	國語漢文（習字） 理科（鑛物） 音樂	午前八時
同　七日（火）	教育 理科（生理及衞生）	午前八時
同　八日（水）	理科（化學） 圖畫（日本畫） 體操（體操）	午前八時 午前八時 午後一時
同　九日（木）	理科（化學） 圖畫（用器畫） 體操（體操）	午前八時
同　十日（金）	國民道德要領 教育大意 理科（動物）	午前九時 午後一時 午前八時
同　十一日（土）	圖畫（西洋畫） 手工	午前八時 午後一時 午前八時
同　十三日（月）	理科（一般理科） 體操（教練）	午前八時
同　十四日（火）	理科（植物） 體操（教練）	午前八時
同　十五日（水）	公民科 理科（物理） 體操（劍道）	午前八時
同　十六日（木）	作業科 理科（物理） 體操（劍道）	午前八時

（注意）別掲文部省告示第二十五號ヲ參照スヘシ

本試驗ハ本年七月中ニ於テ之ヲ行フ但シ其日時割ハ追テ公告ス

二、元第二種學校（女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校）ノ教員免許狀ヲ有シ更ニ同一學科目ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ニ對シテハ其豫備試驗ヲ省キ本試驗ノミヲ行フ

第2429号 本文

三、前回（第六十回但シ體操ノ内劍道ニ在リテハ第五十八回）施行ノ試驗檢定ニ於テ豫備試驗ニ合格シタル者ニシテ今回（第六十二回）同一學科目ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ニ對シテハ師範學校中學校高等女學校教員檢定規程第八條第三項ニ依リ當該學科目ノ豫備試驗ヲ省キ本試驗ノミヲ行フ

四、「國民道德要領」「教育大意」ノ試驗ヲ要スル者ハ前回（第六十回但シ體操ノ内劍道ニ在リテハ第五十八回）豫備試驗合格者ト雖モ今回（第六十二回）豫備試驗ノ際必ス之ヲ受クルヲ要ス若シ此試驗ヲ受ケサル者ハ本試驗ヲ受クルコトヲ得ス

五、理科又ハ理科ノ一部若クハ數部ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ハ豫備試驗ノ際必ス一般理科ノ試驗ヲ受クルヲ要ス但シ舊規程ニ依リ授與セシ理科教員免許狀所有者竝ニ昭和八年七月以降試驗檢定ニ依リ授與セシ理科ノ内一部若クハ數部ノ教員免許狀所有者ニ就キテハ一般理科ノ試驗ヲ免除ス尙ホ前回（第六十回）施行ノ試驗檢定ニ於テ理科ノ内一部若クハ數部ノ豫備試驗ニ合格シタル者ニシテ今回（第六十二回）同一學科目ノ試驗檢定ヲ出願シタル者ニ對シテモ亦同シ

六、出願ニ關スル書式ハ師範學校中學校高等女學校教員檢定規程ヲ參照スヘシ

第一號書式記載注意（一）族稱ハ華士族ニ限リ記載スヘシ（二）受驗資格ハ規程ニ該當スルモノ、内最主要ノ事項ヲ記載スヘシ（三）二學科目以上併願ノ場合ト雖モ願書ハ一通ニ認ムヘシ（四）某學科目ノ内或ル部分ノ試驗ヲ出願スル場合ニハ學科目ノ場所ニ「體操ノ内教練」ノ如ク明記スヘシ（五）出願者氏名ノ漢字ニハ振假名ヲ付スヘシ（六）前回（第六十回但シ體操ノ内劍道ニ在リテハ第五十八回）施行ノ教員試驗檢定豫備試驗ニ合格シタル者ニシテ今回（第六十二回）同一學科目ヲ出願シタル者ハ受驗資格ノ上方ニ「第六十回（但シ體操ノ内劍道ニ在リテハ第五十八回）何學科目豫備試驗合格」ト朱書スヘシ（七）規程第七條ニ依リ無試驗檢定出願中ノ者ハ其學科目竝ニ出願年月日ヲ受驗資格ノ上方ニ朱書スヘシ

第二號書式記載注意（一）學業ハ受驗資格ニ關係アル事項ニ限リ記載スヘシ（二）規程第五條第一號乃至第五號及第九號ノ資格ヲ以テ出願ノ場合ニハ必ス第三號書式若クハ第四號書式ノ證明書ヲ添附スヘシ（三）教員免許狀ハ別紙ニ其寫ヲ添附スヘシ（四）規程第五條第六號ノ資格ヲ以テ小學校教員免許狀授與地方廳以外ノ地方廳ヲ經由出願ノ場合ニハ必ス第五號書式ノ證明書ヲ添附スヘシ（五）規程第五條第十號ノ資格ヲ以テ出願ノ場合ニハ必ス其學歷ニ就キ同條第一號又ハ第二號ニ準スト認ムヘキ證明書ヲ添附スヘシ（六）業務ハ現在若クハ最近ノ經歷ヲ記載スヘシ（七）賞罰ハ經歷上特ニ重要ナル事項ヲ記載スヘシ（八）身上ニ關スル事項ハ族稱氏名ノ變更等身上ノ移動ヲ記載スヘシ

七、出願學科目ノ成績佳良證明書ヲ授與セラレタル者ニシテ今回（第六十二回）同一學科目ノ試驗檢定ヲ出願シタル場合ニハ教員檢定規程第十二條ノ二第二項ニ依リ「國民道德要領」「教育大意」ノ試驗ヲ受クルコトヲ要ス尙ホ成績佳良證明書ヲ授與セラレタル者ハ受驗資格ノ上ニ「何々成績佳良證明書所有者」ト朱書シ其寫ヲ添附スヘシ

昭和十年二月
教員檢定委員會長　三邊長治

◉公示送達

東京市淺草區永住町八十六番地
平野完
（右ノ者ニ送達スヘキ昭和九年十一月二十七日附昭和七年特許願第一〇八五九號出願公告決定謄本）

福岡市南高宮四百五十三番地
吉井惣右衞門
（右ノ者ニ送達スヘキ昭和九年十二月二十二日附昭和九年特許願第七四〇九號拒絕査定謄本）

右ノ書類ハ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ之ヲ交付スヘシ

右特許法施行規則第二十一條ノ規定ニ依リ公告ス

昭和十年二月八日
特許局

◉公債償還

本道公債ノ内來ル三月一日償還額ニ對シ抽籤ヲ行ヒシニ左記證券當籤シタルヲ以テ同日ヨリ取扱銀行（株式會社朝鮮殖産銀行本店）ニ於テ證券ト引換ニ元金ヲ償還ス

昭和十年二月
忠淸南道

忠淸南道公債
五千圓券　第二八三號

來ル三月一日償還スヘキ本道公債ニ對シ抽籤ノ結果左ノ番號當籤ニ付取扱銀行（株式會社朝鮮殖産銀行）ニ於テ受領セラルヘシ

昭和十年二月
全羅北道

全羅北道公債
壹千圓券　第三二號、第四七號、第五三號、第六九號

本縣公債ノ内本月十五日左ノ通一部繰上償還ス

昭和十年二月
青森縣

青森縣い號產業資金公債
百圓券　九〇　一五九　二〇五
五千圓券　六八　八一　一七六　二七〇
三八三

青森縣ろ號產業資金公債
千圓券　一四四　三〇二　三四八
五千圓券　一〇　一二　二六　三〇　九八
一二四

端數利子　五千圓ニ付金九十四圓五十二錢（錢位未滿切捨）
元利金支拂場所　青森縣本金庫又ハ野村證券株式會社　本店及支店

本縣公債左ノ通當籤ニ付來ル三月一日ヲ支拂期日トシ同日ヨリ證票引換ニ元金ヲ償還ス

昭和十年二月
宮崎縣

昭和七年度宮崎縣繼續土木費公債
千圓券　4
百圓券　2　5　10

昭和七年度宮崎縣災害土木費公債
千圓券　31　45
百圓券　7　58

宮崎縣女子師範學校建築費公債
千圓券　59　100
百圓券　58

宮崎縣工業學校建築費公債
五百圓券　25

◉村廢置

本月十一日ヨリ鹿足郡日原村及須川村ヲ廢シ其區域ヲ以テ日原村ヲ置ク

昭和十年二月
島根縣

◉購買入札

一苛性ソーダ（Na_2O 74%以上）　七万五千瓩
昭和十年三月十六日マテニ標本ノ通王子分室内抄紙部納
一入札、契約心得書及標本閲覽場所　當部
一入札日時及場所　本月十三日午前十一時當部（卽時開札）
一入札保證金　見積代金ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ニ依ル資格證明書ヲ入札前ニ提出ノコト

昭和十年二月八日
內閣印刷局總務部

仕組板　六、〇〇〇組
入札　本月十八日午前十時、卽時開札
入札心得書、契約書案及標本　當廠ニ在リ
入札保證金　見積額ノ百分ノ五以上
入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フル者ニ限ル

昭和十年二月八日
大阪陸軍糧秣支廠

一錫地金一號　數量　一〇瓲
履行期限　本年三月十日
一入札並開札　本月十六日午前十一時
一入札場所　當部計算課
一公示書類　入札者心得書、契約書案等同課ニ在リ
一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）
一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十年二月八日
廣海軍工廠會計部

一玄稞麥（十立ノ衡量七百瓦以上）　三万瓩　當所納
一契約條項ヲ示ス場所　當所
一入札竝開札日時及場所　本月十九日午前十一時當所ニ入札書ヲ差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十年二月八日
廣島刑務所

一過燐酸石灰　七万瓩
一硫酸アンモニア　四万三千六百五十瓩
一入札手續及契約條項ヲ示ス場所　當場
一入札竝開札　本月十八日午前十一時當場ニテ入札、卽時開札
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ニ依ル資格アル者ニ限ル

昭和十年二月八日
青森縣上北郡七戸町
奧羽種馬牧場

一品名及數量　錫一、〇〇〇瓩外一點
一入札並開札　本月十八日午前十一時
一入札場所　當局購買課
一公示書類　同課
一入札保證金及納付日時　見積價格ノ百分ノ五以上入札當日午前十時三十分マテ
一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ備フルコトヲ要ス

昭和十年二月八日
廣島遞信局

◉賣拂入札

一、入札物件
山梨縣甲府市伊勢町字大畑二、六九四番
雜種地　七畝二十三歩九合四勺
同所二、六九五番
雜種地　四畝二十六歩七合
但シ一括シテ入札スルモノトス
二、入札心得書及契約條項ヲ示ス場所　當局及甲府稅務署
三、入札及開札日時　本月十九日自午後一時至同二時入札、入札時間締切後卽時開札
四、入札場所　甲府稅務署
五、入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和十年二月八日
東京稅務監督局

一課電用發電機　一箇
引取期限　契約ノ日ヨリ二十日間
一現品縱覽日時　本月十八日午前十時三十分
一入札並開札　本月二十五日午前十時三十分
一入札場所　當科
一入札方法　制度入札ハ郵便ニ限ル
一公示書類　契約書案、入札者心得等當科ニ在リ
一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）

昭和十年二月八日
大湊要港部主計科

一電線屑外十三點
一入札並開札　本月十三日午前十一時入札、卽時開札
一入札場所　當局購買課
一公示書類　同課ニテ熟覽スヘシ
一入札保證金及納付期限　見積價格ノ百分ノ十以上（圓未滿切上ク）、入札當日午前十時三十分限

昭和十年二月八日
大阪遞信局

◉商業登記

◉江川電力硫安株式會社變更
一昭和九年十一月十五日本店ヲ東京市麹町區内幸町一丁目三番地一ト變更ス

◉大日本パイル織布株式會社變更
一左者昭和九年十一月十五日會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
三輪梅三郎

◉深田合名會社變更
一社員深田嘉穗ノ住所ヲ東京市麹町區平河町二丁目七番地五ト更正ス
一社員深田讓介ハ金十五万圓同深田健男深田嘉穗ハ金六万圓宛ト同深田米次郎ハ金三万圓ト昭和九年十一月十八日其出資額ヲ減少シテ其出資額ヲ變更ス

◉帝國電燈株式會社變更
一取締役石塚粂藏ハ昭和九年十一月二十日其住所ヲ東京市目黑區三田百九十七番地ニ移轉ス

◉合資會社牧野商店變更
一社員今井次市ハ昭和九年七月一日其住所ヲ東京市麹町區麹町二丁目八番地一ト變更シ同九年七月十五日同市神田區東神田十四番地ノ四ニ移轉ス
一社員牧野佐吉ハ同年七月十五日其住所ヲ同所四ニ移轉ス

◉株式會社二六新報社變更
一取締役御手洗辰雄簸東太會社ヲ代表スヘキ取締役橋本康男ハ昭和九年十一月十五日辭任シ左者取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
松本米吉　東京市麹町區中六番町二十七番地
下條光三　同市世田谷區北澤三丁目九百八番地
一會社ヲ代表スヘキ取締役　松本米吉
一同日監査役松本米吉ハ辭任シ左者監査役ニ就任ス
高山忠吉　東京市大森區新井宿六丁目七百十番地

◉株式會社設立
一商號　日本特許精茶株式會社
一本店　東京市芝區田村町一丁目三番地三
一目的　特許精茶處理法實施權行使ノ代理及使用料ノ取立各種製茶ノ製造販賣以上ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年十一月十八日
一資本總額　金十万圓
一一株金額　金二十圓
一各株拂込額　金二十圓
一公告方法　本店店頭ニ掲示ス
一取締役ノ氏名住所
北田久七　東京市蒲田區新宿町五十番地
平田眞二　同市同區小林町二百八十六番地
野西卯三郎　同市同區同町二百五十五番地
飯塚茂五郎　同市淺草區田島町百番地
岡村享　同市王子區上十條町千五百六十一番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　北田久七平田眞二

一監査役ノ氏名住所　小山重三　東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺二千二十五番地
一存立時期　昭和二十四年十一月十七日迄

◉合資會社ヤマニメリヤス商店變更
一社員丹羽正一郎ハ昭和九年十一月六日死亡ス

◉日本鷄卵販賣株式會社變更
一取締役會社ヲ代表スヘキ取締役左者ハ昭和九年十一月十四日重任ス
河合紋郎　豐橋市關屋町四十四番地
加藤發太郎　同市船町百四番戸
中村倭太郎　同市關屋町百八番地
倉橋源平　同市呉服町五十四番地
山田喜助　同市魚町二十八番戸
會社ヲ代表スヘキ取締役　河合紋郎

◉旭蓄音器株式會社變更
一取締役池澤留吉ハ昭和九年十一月十八日辭任シ左者取締役ニ同日就任ス
河崎粂吉　大阪市住吉區阿倍野筋三丁目六十番地

◉株式會社駒宮商會變更
一本店ヲ東京市本郷區湯島六丁目十七番地ト更正ス
一取締役駒宮熊次郎駒宮タカハ同所ト其住所ヲ更正ス
一監査役駒宮淸吉ハ其住所ヲ同所ト更正ス
一昭和九年十一月一日本店ヲ東京市本郷區湯島二丁目二番地四ト變更ス
一取締役駒宮熊次郎駒宮タカハ同日其住所ヲ同所四ト變更ス
一監査役駒宮フミ駒宮淸吉ハ同日其住所ヲ同所四ト變更ス
一昭和九年十一月十五日目的ヲ左ノ如ク變更ス
一目的　藥品賣藥部外品化粧品及衞生材料ノ製造販賣及賣藥請賣醫療器械ノ販賣

◉合資會社設立
一商號　合資會社正輪小型自動車製作所
一本店　東京市芝區芝浦町三丁目一番地
一目的　小型自動車製造販賣竝ニ修繕小型自動車部分品ノ製造及販賣其他前各項ニ關聯スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年十一月十五日
一社員ノ氏名住所及出資責任
勞務　無限　阿部正一　東京市芝區芝浦三丁目一番地
金千圓　有限　遠藤不二男　同市品川區御殿山七百十八番地
金千圓　同　中澤芳次郎　同市本所區松戸町一丁目十三番地
一存立時期　昭和四十九年十一月十四日迄

◉日本産業株式會社變更
一株式會社大阪鐵工所合併ニヨリ承繼シタル社債金千万圓全部ヲ昭和九年十一月二十日償還ス

◉合資會社尾柳商店變更
一昭和八年十一月三十日存立時期ヲ廢止ス

一昭和九年十一月二十一日左者入社ス
金五百圓　有限　渡邊渉　東京市本所區江東橋一丁目十二番地ノ三
一同日本店ヲ東京市江戸川區小岩町四丁目千五百十四番地ニ移轉ス

◉商號新設
一商號　丸越果實店
一營業種類　果實販賣
一營業所　東京市牛込區若松町三番地
一商號使用者ノ氏名住所　森鶴彦　東京市牛込區若松町三番地

◉日本信號株式會社變更
一左者昭和九年十一月二十一日取締役ニ就任ス
松縄信太　東京市杉並區上荻窪町四百四十五番地

◉大和興業株式會社變更
一取締役別所豐次郎佐藤米吉原虎太郎ハ昭和九年十一月二十日辭任シ左者取締役ニ同日就任ス
別所豐次郎　津市出口岩田九百三番地
佐藤米吉　名古屋市中區東雲町五十七番地
原虎太郎　東京市澁谷區宇田川町五番地
一監査役左者ハ同日重任ス
安藤俊三　名古屋市中區小林町三十番地
渡部善兵衞　大阪市東區高麗橋一丁目六番地

◉合資會社東京運動社變更
一本店ヲ東京市神田區小川町三丁目十番地ニト更正ス
一社員平本柳藏山口熊次郎平本菊代平本省一ノ住所ヲ同所ニト更正ス

◉合資會社杏花樓變更
一社員竹内辰次郎ハ昭和九年十月二十三日退社ス

◉合資會社正愛農場變更
一社員北川浩ハ昭和九年十一月十日其住所ヲ東京市赤坂區青山高樹町十五番地ニ移轉ス

◉日清製粉株式會社變更
一監査役村松甚藏ハ昭和九年十一月二十日辭任ス

◉合資會社柳屋解散
一總社員ノ同意ニヨリ昭和九年十一月二十二日解散

◉軍需品製造株式會社變更
一取締役兼會社ヲ代表スヘキ取締役山本一男ハ昭和九年十一月二十日辭任シ左者取締役ニ就任ス
山本嵓　東京市麻布區霞町十九番地
森松治郎　同市日本橋區小傳馬町一丁目三番地ノ一
深井秀雄　同市下谷區初音町三丁目十九番地

第2429号本文

一左者同日會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
會社ヲ代表スヘキ取締役　山本盛
一同日監査役荒井末吉ハ辭任シ左者監査役ニ就任ス
荒井末吉　東京府北多摩郡青梅町豐江四十八番地

●南米水產株式會社變更
一取締役木部守一ハ昭和九年十一月二十日辭任ス

●中央冷藏製氷株式會社變更
一取締役日下次郎ハ昭和九年十一月二十一日辭任シ左者取締役ニ同日就任ス
圀寶　東京市芝區芝浦町二丁目一番地ノ一號

●旭水產株式會社變更
一昭和九年十一月二十日朝鮮清津府明治町八番地ノ支店ヲ廢止ス

●撫順炭販賣株式會社變更
一監査役左者ハ昭和九年十一月二十日重任ス
村田精一　東京市麻布區飯倉町三丁目十一番地

●株式會社有馬洋行變更
一大阪市東區安土町四丁目十番地ノ支店ヲ昭和九年十一月十六日同市同區伏見町五丁目二十七番地ニ移轉ス

●昭和金鑛株式會社變更
一昭和九年十一月八日商號ヲ左ノ如ク變更ス
商號　山藍染料株式會社
一目的ヲ左ノ如ク同日變更ス
目的　山藍蓼藍ノ栽培及製造販賣之ニ附帶スル一切ノ事業
一取締役吉田傳會社ヲ代表スヘキ取締役三浦榮治郎ハ同日辭任シ左者取締役ニ同日就任ス
今橋　清一　東京市牛込區余丁町百二番地
西村福三郎　同市澁谷區千駄ヶ谷四丁目六百九十二番地
和田次郎左衞門　鹿兒島市草牟田町四千七十二番戶
竹村　三郎　神戶市神戶區中山手通七丁目二百二十六番屋敷
一同日監査役今橋鼎ハ辭任シ左者監査役ニ就任ス
長尾　稔　鹿兒島市上龍尾町二十一番戶
水津政次郎　東京市世田谷區上北澤町二丁目四百九十六番地
一同年十一月二十日本店ヲ東京市芝區今入町十五番地ニ移轉ス

●東洋拓殖株式會社變更
一第六十一回社債總額金七十二万四千圓ノ內金一万千圓ヲ昭和九年十一月二十日償還シ社債殘額ヲ金七十一万三千圓ト變更ス

一第百六回社債總額　金五十七万五千圓
一各社債金額　金一千圓金一万圓
一利率　年四分
一償還ノ方法及期限　昭和十四年十一月二十日迄据置キ以後每年二回五月二十日及十一月二十日ニ每回金九千圓以上ヲ償還シ昭和三十四年十一月二十日迄ニ全額ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ据置期間中ニ於テ本資金ノ貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲ爲スモノトス
一各社債拂込額　全額

●合資會社設立
一商號　合資會社杏美
一本店　東京市芝區宮本町二十三番地
一目的　侍合茶屋營業及之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年十月二十二日
一代表社員　米谷喜代
一社員ノ氏名住所及出資責任
金三百圓　有限　米谷靜　東京市芝區宮本町二十三番地
金千圓　同　小川小次郎　同市本所區材木町三丁目五十七番地
債權一口外有價證券及動產八十九點此價格金二千圓　無限　米谷喜代　同市芝區宮本町二十三番地

●株式會社設立
一商號　三河家株式會社
一本店　東京市日本橋區橫山町十番地ノ一
一目的　食料品及御殿の源ノ製造販賣味噌ノ販賣右ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和九年十一月十日
一資本總額　金三万圓
一一株金額　金二十圓
一各株拂込額　金二十圓
一公告方法　本店ノ店頭ニ掲示シテ之ヲ示ス
一取締役ノ氏名住所
高津　隼　東京市日本橋區橫山町十番地一
村上　政雄　同市同區橘町九番地七小西商店內
片岡　理衞　同市下谷區二長町八十九番地
加藤格四郎　岡崎市八帖町往環通五十二番地合名會社太田商店內
會社ヲ代表スヘキ取締役　高津　隼
一監査役ノ氏名住所
水野健治　東京市淺草區永住町六番地
三宅則義　同市京橋區越前堀一丁目八番地
一存立時期　昭和三十九年十一月九日迄

●合名會社設立
一商號　日本汽罐工業合名會社
一本店　東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地ノ一
一目的　汽罐ノ製作並据付及之ニ附帶スル一切ノ事業
一設立年月日　昭和九年十一月十日
一代表社員　奧村競
一存立時期　昭和三十九年十一月十日迄
一社員ノ氏名住所及出資
勞務　奧村競　東京市大森區田園調布鵜ノ木町二百五十番地ノ一
勞務　江田直太　同所四百七十三番地
金二千圓　奧村久幸　同所二百五十番地ノ一
金三千圓　奧村博安　同所一
右昭和九年十一月二十二日登記

●株式會社三田商店變更
一昭和九年十一月十九日室蘭市濱町六十八番地ノ支店ヲ同所六十六番地ニ移轉ス

●東京共成株式會社變更
一昭和九年十一月二十六日本店ヲ東京市京橋區銀座四丁目三番地二ニ移轉ス

●昭和石油株式會社變更
一取締役奧田正義ハ昭和九年十一月十五日其住所ヲ東京市世田谷區上北澤町三丁目八百七十七番地ニ同早川玩丸ハ同日其住所ヲ同所奧田正義方ニ移轉ス
一同年十一月二十三日目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的　石油石炭採掘加工販賣及之ニ附帶セル一切ノ業務
一昭和九年十一月二十六日本店ヲ東京市世田谷區上北澤町三丁目八百七十七番地ニ移轉ス

●合資會社設立
一商號　合資會社櫻屋商店
一本店　東京市本所區吾妻橋二丁目三番地
一目的　酒類味噌醬油薪炭ノ販賣
一設立年月日　昭和九年十一月二十日
一代表社員　小久保みや
一社員ノ氏名住所出資責任
金二千圓　無限　小久保みや　東京市本所區吾妻橋二丁目三番地
金五百圓　有限　永井市助　同市下谷區仲御徒町一丁目十七番地
金五百圓　同　小久保順太　同市王子區下十條町二百五十二番地
一存立時期　昭和十九年十一月十九日迄

●合資會社精工社製作所變更
一社員和田二郎ハ昭和九年十一月十五日其出資ノ勞務ヲ廢止シ更ニ出資シテ其出資額ヲ金一万二千圓ト變更ス

●株式會社大松變更
一昭和九年十一月五日商號ヲ左ノ如ク變更ス
商號　株式會社波古堂
一同年十一月十九日目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的　書畫骨董並ニ諸道具ノ賣買武具刀劍類ノ販賣美術工藝品裝身具類ノ賣買右業務ニ對スル金融並ニ仲介前各項ニ附帶スル一切ノ業務
一取締役並ニ會社ヲ代表スヘキ取締役名取常吉取締役森川藤治名取保ハ同日辭任シ左者取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
服部慶太郎　東京市杉並區大宮前四丁目五百六十六番地
井上與一　同市瀧野川區西ヶ原町九百八十五番地
豐　守貢　同市京橋區寶町三丁目三番地
高橋　俊三　同市芝區本芝一丁目三番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　服部慶太郎
一會社ヲ代表スヘキ取締役服部重右ヱ門ハ同日辭任ス
一同日監査役井上勝次郎名取もとハ辭任シ左者監査役ニ就任ス
大瀧一慶　東京市杉並區和泉町百八十一番地
兒玉　哲　同市京橋區寶町三丁目三番地ノ一
一同日本店ヲ同市同區寶町一丁目三番地ノ一ニ移轉ス

●東部證券株式會社變更
一昭和九年十一月二十六日本店ヲ東京市京橋區銀座四丁目三番地二ニ移轉ス

●合資會社設立
一商號　角谷合資會社
一本店　東京市下谷區仲御徒町二丁目三番地
一目的　不動產ノ賣買及賃貸
一設立年月日　昭和九年十一月十六日
一社員ノ氏名住所及出資責任
金四千二百圓　無限　角谷重藏　東京市下谷區仲御徒町二丁目三番地
金九百圓　有限　角谷辰二　同所
金四千九百圓　同　近藤ヨネ　同市荒川區日暮里町一丁目千六百五十番地
一代表社員　角谷重藏
右昭和九年十一月二十八日登記

●去月二十九日官報廣告二別刷一頁三段掲載當廳三つ星證券株式會社變更登記公告中三行「一本店」トアルハ「一同日」ノ誤ニ付訂正ス

●去月二十九日官報廣告二別刷四頁四段掲載當廳商號赤垣屋新設登記公告中左ノ一行ヲ脫落シタルニ付追加訂正ス
一營業ノ種類　酒類販賣

昭和十年二月
東京區裁判所

產業組合登記

●無限責任上士別信用販賣購買利用組合變更
一昭和九年十二月十九日認可ニ因リ目的中第三號ヲ左ノ通リ變更セリ
三組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
右昭和九年十二月二十日登記
名寄區裁判所士別出張所

●產業組合設立
一名稱　保證責任淕別信用購買販賣利用組合
一組織　保證責任
一事務所　足寄郡淕別村大字淕別村字淕別市街東一條三丁目四番地
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
一設立許可ノ年月日　昭和九年十月十二日
一出資一口ノ金額　金五十圓
一出資拂込方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓以上トス第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口每ニ每年三月末及十一月末迄ニ金五圓以上宛拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
坂本久吉　足寄郡淕別村大字淕別村字淕別東一條一丁目七番地
小田文二　同上字淕別分線五番地
栗原安丸　同上四番地
井上六郎　同上六番地
名取春作　同上五番地
一監事ノ氏名住所
秋葉又吉　足寄郡淕別村大字淕別村字淕別本通一丁目五番地
村田泰藏　同上字淕別基線三百六十九番地
一區域　足寄郡淕別村
昭和九年十二月二十一日登記
帶廣區裁判所西足寄出張所

●保證責任豐頃信用販賣購買利用組合變更
一理事監事任期滿了ノ處昭和九年一月二十八日理事岩坂吉太郎守內正種上遠小二郎井村宗吾種川徹次郎監事武野侃津田邦松ハ重任シ左記ノ者新ニ選任セラレ同日就任シタリ
一監事氏名住所　小林官太　中川郡豐頃村大字豐頃村字禮文內西三線北七番地
右昭和九年十二月二十四日登記
帶廣區裁判所大津出張所

●保證責任野付牛農業信用購買販賣利用組合變更
昭和九年十一月二十五日理事吉田定次郎ハ地名變更ニ依リ住所ヲ左ノ如ク變更ス
常呂郡野付牛町字北光社南三線西三號
右昭和九年十二月二十一日登記
野付牛區裁判所

●保證責任豐原養狐販賣購買利用組合變更
監事吉田光三ハ昭和九年十月十七日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
豐原郡豐原町大字豐原字北二線西一番丁第五十六號
監事坂本英一ハ昭和九年十月二十日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
豐原郡豐原町大字豐原字東一條南六丁目三十五番地
右昭和九年十二月二十二日登記
豐原區裁判所

●保證責任敷香信用組合變更
監事折戶惣市ハ昭和九年五月三十日監事貫和清松ハ同年七月三十日各辭任シタリ
右昭和九年十二月十四日登記
豐原區裁判所敷香出張所

●有限責任本古丹信用販賣購買組合變更
一昭和九年十一月十日理事監事全員辭任ニ付同日總會ニ於テ理事監事選任シタル處就任承諾シタリ
理事吉田發太郎　眞岡郡蘭泊村大字本古丹字樂磨十番地
理事佐々木藤太郎　同上大字本古丹字本古丹十番地
理事島田甚七　同上大字本古丹字樂磨番外地
監事岡本市三郎　同上大字本古丹字樂磨五番地
監事工藤重次郎　同上大字本古丹字蜆泊番外地

●有限責任廣地村信用販賣購買利用組合（選任）
一昭和九年九月十七日監事一名缺員ノ處總會ニ於テ左者監事ニ當選シ同日就任承諾シタリ
監事鈴木虎次郎　眞岡郡廣地村大字廣地字廣地四十三番地
右昭和九年十二月二十日登記
眞岡區裁判所

●有限責任烏樹林購買組合（變更）
一理事鎌田正文古賀磐栗山經哉山本喜貞藤井純一陳玉衡監事長谷部浩前田重吉多田隈市平ハ任期滿了ノ處昭和九年十二月一日理事鎌田正文古賀磐栗山經哉山本喜貞藤井純一監事長谷部浩多田隈市平ハ重任シ左者新任ス　新營郡後壁庄烏樹林三三四番地理事前濱助市同所同番地監事福田千代吉
右昭和九年十二月十九日登記
臺南地方法院新營出張所

●產業組合（設立）　名稱保證責任溪洲信用販賣購買利用組合組織保證責任區域東港郡林邊庄ノ內溪洲港子內車路墘七塊厝牛埔濫頭事務所高雄州東港郡林邊庄溪洲五一三番地目的一組合員ニ產業又ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト二組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト三產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ヲ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト四組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工シ若ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト五組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト設立許可ノ年月日昭和九年十月二十二日出資一口ノ金額金十圓出資拂込ノ方法出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口每ニ第一回拂込ノ翌月ヨリ每月末日限リ金一圓宛拂込ムコト理事ノ氏名住所高雄州東港郡林邊庄七塊厝二三二番地蔡丁貢同所三一四番地張朝躍同郡同庄牛埔八一番地林水順同郡同庄溪洲五二四番地許明月同郡同庄港子內三三七番地洪新斷同郡同庄濫頭一二七番地林丁同所三九二番地陳樹監事ノ氏名住所高雄州東港郡林邊庄溪洲四五番地張清安同所五五二番地余德和同所五三〇番地黃豐登同郡同庄港子內三三七番地洪陣同郡同庄車路墘四九六番地陳開存立時期滿二十箇年
右昭和九年十二月十九日登記
臺南地方法院東港出張所

住宅組合登記

●有限責任堺愛隣住宅組合變更
一理事富岡勇造光田貞七ハ昭和九年十二月五日退任シ理事小川英三ハ同日重任ス
一左記ノ者同日理事ニ就任ス
平井泰三　堺市大濱北町十番地
一監事三浦清一ハ同日退任シ監事谷和文平ハ同日重任ス
一左記ノ者同日監事ニ就任ス
河手雄一　堺市今池町三百三十五番地
昭和九年十二月二十日登記
堺區裁判所

●有限責任下部田住宅組合變更
一理事川松武治ハ昭和九年十二月四日死亡ス
昭和九年十二月四日登記
安濃津區裁判所

森林組合登記

●浦山施業森林組合變更
一監事關和重保關和琴治山本包一郎ハ昭和九年十二月十六日重任ス
昭和九年十二月二十四日登記
秩父區裁判所野上出張所

●伊勢路土工保護森林組合變更
一監事一名缺員中ノ處昭和九年十二月八日左記ノ者就任ス
監事　仲定八　度會郡穗原村大字伊勢路二千二百四十番地ノ一
昭和九年十二月十五日登記
山田區裁判所五ヶ所出張所

●上山村造林保護土工森林組合變更
一理事西本眞壽夫ハ昭和九年十二月十日死亡ス
昭和九年十二月二十四日登記
尾道區裁判所小國出張所

●施業森林組合設立
一名稱　出雲村西山施業森林組合
一事務所　佐波郡出雲村大字堀第千八百十七番地
一目的　森林利用上ノ困難ヲ排除スルト共ニ其ノ利用ヲシテ國土保安ニ適合セシムルヲ以テ目的トス
一事業　イ森林ノ施業計畫案編成及之カ指導監督ロ森林ノ保護ハ森林ノ經營ト相反セサル土地ノ利用ニ林道ノ築設及其ノ維持ホ其他定款第一條ノ目的ヲ遂スル爲ニ必要ナル事項
一設立許可年月日　昭和九年十二月十七日
一出資又ハ費用分擔方法　費用分擔ノ割合ハ其森林ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ムモノトス但シ特殊關係ノ林道築設及維持ニ要スル費用ハ其ノ林道ニ關係アル森林所有者ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ムルモノトス
一地區　山口縣佐波郡出雲村大字堀字北野字下庄方字上庄方字漆尾ノ一圓トス
一理事ノ氏名住所
田中實之進　佐波郡出雲村第六百九十六番屋敷
中村　幸十　同郡同村大字堀第四百九十三番地

中村　豐熊　同郡同村大字同第三千四十五番地
山根吾二郎　同郡同村大字同第三千五百一番地
吉松　熊吉　同郡同村大字伊賀地第五百十八番地
久樂千代熊　同郡同村第三百三十番屋敷
高木　良一　同郡同村大字伊賀地第二千二百九十番地
一監事ノ氏名住所
金子米吉　佐波郡出雲村第七百二番屋敷
下瀨芳一　同郡同村大字堀第二千八百四十五番地
吉松仲助　同郡同村大字伊賀地第五百十八番地

昭和九年十二月二十一日登記　山口區裁判所八坂出張所

●森林組合設立
名稱　小伊田川施業森林組合
事務所　玖珂郡桑根村大字南桑第二千二百三十番地
目的及事業　一森林ノ施業計畫案編成及之カ指導監督一森林ノ保護一森林ノ經營ト相反セサル土地ノ利用一林道ノ築設及其維持
設立許可ノ年月日　昭和九年十二月十四日
出資又ハ費用分擔ノ方法　其ノ所有森林ノ面積ニ比例シテ之ヲ定ム但シ特殊關係ノ林道築設及維持ニ要スル費用ハ其林道ニ關係アル森林所有者ノ森林ノ等級竝ニ面積ニ比例シテ之ヲ定ムルモノトス
地區　玖珂郡桑根村大字南桑字小伊田川久保背戶
理事ノ氏名住所　玖珂郡桑根村大字南桑第二千二百三十番地田中耕作　同所第二千百八十三番地藤村景同　同所第二千百五十一番地片山章人　同所第二千二百三十四番地福田福次郎
監事ノ氏名住所　玖珂郡桑根村大字南桑第二千二百九十四番地福永茂平　同所第二千百四十一番地高原敞之助
右昭和九年十二月二十四日登記　岩國區裁判所本鄉出張所

●上加茂施業森林組合(變更)
理事杉本靜惠昭和九年十二月二十二日辭任シタリ
右昭和九年十二月二十四日登記　津山區裁判所加茂出張所

●細吉施業土工森林組合變更
理事谷野孫重ハ昭和九年十二月七日死亡ス
右昭和九年十二月二十一日登記　米子區裁判所淀江出張所

●日其川施業土工森林組合變更
昭和九年十二月十八日理事橋本新藏土居福松壽野兼太郎各重任左ノ者各新任
山本福三郎　上浮穴郡浮穴村大字北平甲四千六百六十五番地
西河吉三郎　同所三百十一番戶
監事永田友吉重任左ノ者新任
本山濱衞　同所乙四千百九十五番地
昭和九年十二月二十一日登記　松山區裁判所小田町出張所

●名稱群施業森林組合變更
昭和九年十二月十五日總會ニ於テ理事監事改選左ノ者當選就任理事富永百太郎西彼杵郡大草村野副石四百二十九番地理事小林村太同上元釜石八百七番地理事林田卯藏同上七百九十九番地監事林田米藏同上七百八十三番地監事小林次郎右衞門同上七百七十二番地
右昭和九年十二月二十四日登記　長崎區裁判所矢上出張所

●新川施業森林組合變更
理事早坂萬藏ハ昭和九年六月九日死亡ス
右昭和九年十二月十九日登記

●新川施業森林組合變更
理事一名缺員及監事全員任期滿了ノ處昭和九年十一月十六日總會ニ於テ左ノ者理事ニ新任ス
早坂松之亟　名取郡秋保村新川十八番地
同日庄司庄左衞門庄司磯右衞門鈴木万右衞門再選重任左記ノ者監事ニ新任ス
石垣德衞　名取郡秋保村新川字山際八番地
右昭和九年十二月二十日登記　仙臺區裁判所廣瀨出張所

◎漁業組合登記

●氣多村漁業組合變更
理事監事任期滿了ニ付昭和九年十二月十七日改選ノ結果左記當選就任ス
周智郡氣多村宮川九二三番地理事本多貳敷　同村氣田六二九番地理事玉田吉太郎　同村豐岡二三三五番地理事渡邊文作　同村氣田八〇九番地監事岩本倭三太郎　同村豐岡一六五八番地監事鈴木安平
右昭和九年十二月二十二日登記　掛川區裁判所犬居出張所

●伊保村漁業組合變更
一理事任期滿了ニ付昭和九年十二月二十日總會ニ於テ左記ノ者再選セラレ同日重任ス
鱗谷寅藏　印南郡伊保村伊保崎四百五十九番屋敷
右昭和九年十二月二十二日登記　姬路區裁判所阿彌陀出張所

●三尾漁業組合變更
一昭和九年十二月十一日認可ニヨリ地區ヲ左ノ如ク變更ス
美囊郡濱坂町三尾赤崎
右昭和九年十二月二十日登記　豐岡區裁判所湯村出張所

●川内漁業組合(變更)
一理事全員任期滿了ノ處昭和九年十二月十八日各重任
一監事全員任期滿了ノ處昭和九年十二月十八日各重任同月十八日左ノ者監事ニ就任セリ
監事　吉田藤一　德島縣板野郡川內村米津七番屋敷
右昭和九年十二月二十四日登記　德島區裁判所川內出張所

●尾東漁業組合變更
一理事淺野三郎ハ昭和九年十二月十四日死亡ス
昭和九年十二月二十一日登記　一宮區裁判所犬山出張所

●中津濱浦漁業組合變更
一理事任期滿了ノ處昭和九年十二月十五日左記ノ者就任ス
理事　西井與之助　度會郡五ケ所村大字中津濱浦二百七十九番地
昭和九年十二月十五日登記　山田區裁判所五ケ所出張所

●畔名村漁業組合變更
一理事茶木市之助ハ昭和九年十二月十三日辭任ス
昭和九年十二月二十日登記　山田區裁判所波切出張所

●菅濱漁業組合變更
一理事武田米治郎ハ昭和九年十二月二十二日辭任ニ付同日左記ノ者就任セリ
理事　吉本利吉　福井縣三方郡山東村菅濱百號十一番地
昭和九年十二月二十四日登記　敦賀區裁判所耳村出張所

●中合漁業組合變更
監事田島甚佐ハ任期滿了ノ處昭和九年十二月二十日重任ス
右昭和九年十二月二十六日登記　小松區裁判所動橋出張所

●野井浦漁業組合變更　監事渡部捨松ハ昭和九年十二月十四日辭任シタルニ依リ同年同月十五日左記ノ者補缺選擧ニ因リ當選就任ス
村上忠二郎　八束郡野波村大字野井二百六十一番地
右昭和九年十二月二十二日登記　松江區裁判所本庄出張所

●有川町太田漁業組合(變更)
一理事任期滿了ニ付昭和九年十二月十七日總會ニ於テ田村八百吉高村留七ハ重任シ左ノ者新ニ理事ニ就任ス
大浦榮四郎　南松浦郡有川町太田鄉八百十六番地
一監事田村吾吉石司久二郎ハ昭和九年十二月十七日重任シタリ
右昭和九年十二月二十二日登記　福江區裁判所有川出張所

●豐岡町漁業組合變更
理事安部源三郎ハ昭和九年十二月十五日辭任シ同日左記ノ者就任ス
梶原農太郎　大分縣速見郡豐岡町大字豐岡九百八十九番地
右昭和九年十二月二十一日登記　杵築區裁判所日出出張所

●玉水村漁業組合變更　理事佐々信吾ハ昭和九年十二月二十日退任シ左者ハ同日理事ニ就任ス
佐々吉郎兵衞　玉名郡玉水村部田見千四百三十五番地
昭和九年十二月二十一日登記　高瀨區裁判所伊倉出張所

●與那城村字平安座高離漁業組合變更
一監事全員任期滿了ノ處昭和九年十二月十七日臨時總會ニ於テ改選ノ結果長濱浦戶川前大郎ハ再選重任シ左記ノ者新ニ當選就任セリ
監事　玉城牛　中頭郡與那城村字平安座三百五十二番地
同上　宮里三郎　同郡同村字上原四百二十七番地
同上　名城榮賢　同郡同村字宮城千三百十五番地
右昭和九年十二月十八日登記　那覇區裁判所具志川出張所

◎相續財產管理人選任

本籍竝ニ最後ノ住所千葉縣長生郡西村佐坪五七八番地
被相續人　亡　池田　友藏
明治八年十月八日生

大正十五年二月十六日本籍ニ於テ死亡當裁判所ハ右亡友藏相續人未定ノ相續財產ニ付長生郡西村佐坪五七八番地亡友藏妻池田いちノ申請ニヨリ昭和十年二月二日長生郡一宮町二八四九番地辯護士小高學ヲ其財管產理人ニ選任シタリ

昭和十年二月二日　一宮本鄉區裁判所

◎準禁治產宣告取消

宮城縣名取郡中田村前田字東四十八番地
小関仁左衞門
明治十七年三月二十七日生

右ニ對シ大正七年六月二十五日當裁判所ノ宣告シタル準禁治產宣告ハ小関仁平ノ申立ニ因リ昭和十年一月二十五日之ヲ取消シタリ

昭和十年一月二十八日　仙臺區裁判所

本籍及住所福島縣相馬郡高平村泉字廣畑四百五十八番地
坂本長五郎
明治十八年三月二日生

右ニ對シ昭和五年十一月十八日相馬區裁判所ノ宣告シタル準禁治產ハ同人妻坂本テツノ申立ニ因リ昭和十年一月二十八日之ヲ取消シタリ

昭和十年一月二十八日　相馬區裁判所

◎公示催告

昭和十年一月二十八日株主總會ニ於テ資本金三十万圓ヲ金十二万圓ニ(一株五十圓内金二十圓拂込濟未拂込金三十圓免除)資本減少ヲ決議セシニ付異議アラハ本年四月十日迄ニ述ヘラレタシ

昭和十年二月五日
島根縣安濃郡大田町
山陰石膏株式會社

德島市寺島町字本町北二百六十四番地丸岡孟雄儀被相續人丸岡榮吉ノ家督相續人トシテ昭和十年二月四日德島區裁判所ニ於テ其相續ノ限定承認ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及受遺者ハ此公告ノ日ヨリ二箇月ノ期間内ニ代理人司法代書人住吉茂吉迄其請求ノ申出ヲ爲スヘク若シ右ノ期間内ニ申出ヲ爲サヽルトキハ其債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ右民法第千二十九條ニ依リ公告候也

昭和十年二月五日
德島縣德島市北山路町字北山路町六十番地ノ一
丸岡孟雄代理人
司法代書人　住吉茂吉

◎公示催告中更正

大阪市北區中之島二丁目五十四番地ノ一
申立人　英國人
コダック商會事ジービーコダック

右申立人ノ申立ニヨリ昭和十年一月三十日當裁判所ノ爲シタル公示催告中證券ノ表示ノ「六、寄託物種類品質箇數印度綿繰綿一箇」トアルヲ「六、寄託物種類品質箇數印度綿繰綿一百箇」ト更正ス

昭和十年二月四日　神戶區裁判所

◎失踪宣告

本籍及最後ノ住所福岡市伊崎浦四十三番地
不在者　木村　關藏

右ニ對シ大牟田市本町二丁目石橋初太郎方木村スエノ申立ニ因リ昭和十年一月二十五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和十年一月三十一日　福岡區裁判所

本籍竝最後ノ住所山形縣北村山郡常盤村大字畑澤二百四番地
不在者　大戶　三助
安政元年九月十七日生

右ニ對シ長男大戶伊助ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十年一月三十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和十年一月三十一日　山形區裁判所

本籍東京市京橋區月島西仲通五丁目三番地最後ノ住所岩手縣下閉伊郡山田町飯岡第十一地割字新丁二十番地ノ內
佐々木佐藏
明治二十六年二月十日生

右ニ對シ東京市京橋區月島西仲通五丁目三番地佐々木留藏ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十年一月二十五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和十年一月二十五日　宮古區裁判所

本籍及最後ノ住所南秋田郡船越町二十七番地
不在者　佐々木七兵衞
天保元年五月三日生

右ニ對シ南秋田郡船越町二百九十二番地大野九左エ門ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十年一月二十八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

昭和十年一月二十八日　秋田區裁判所

臺南州新豐郡仁德庄中洲三三五一番地
申立人　梁　張氏勸
同所同番地
不在者　梁　著

右申立人ヨリ不在者ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付當法院ハ昭和十年一月二十四日不在梁著ノ失踪ヲ宣告ス

昭和十年一月二十六日　臺南地方法院單獨部

◎除權判決

上海九江路第三號
申立人　株式會社朝鮮銀行

別紙表示ノ證書ニ付キ申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處昭和九年十月三十一日午前十時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テ且ツ證書ヲ提出スルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基ツキ該證書ノ無效ヲ宣言ス

昭和十年一月二十五日
在上海日本帝國總領事館
領事　下川久市

(別紙)
證書ノ表示
一證書　G一六六三三號小切手一通
一金額　銀二萬二千三百五十八弗也
一振出人　上海居留民團
一支拂人　株式會社[illegible]銀行
一受取人　頓宮寬又ハ指圖人
一振出ノ年月日　昭和九年四月四日
一振出地及支拂地　上海
一第一裏書人　頓宮寬
一第二裏書人　株式會社泰和銀公司

◎復權申立

東京市大森區田園調布三丁目九十六番地ノ一
中野　憲二

右之者ハ昭和九年十月十五日復權ノ申立ヲ爲シタリ
仍テ右公告ス

昭和十年二月一日　東京區裁判所
判事　桑原龍興

長崎縣南高來郡島原町九百四十番地
家資分散者　大澤余四郎

右者昭和十年一月三十一日復權ノ申立ヲ爲シタリ
右公告ス

昭和十年一月三十一日　島原區裁判所

福岡縣飯塚市飯塚四百四十三番地
破產者　飯田　久登

一右ノ者昭和十年一月三十日當裁判所ニ復權ノ申立ヲ爲シタリ
一復權申立ニ關スル書類ハ利害關係人ノ閲覽ニ供スル爲當裁判所書記課ニ之ヲ備ヘ置ク
一債權者ハ本公告アリタル日ヨリ三月内ニ復權ノ申立ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

昭和十年一月三十一日　飯塚區裁判所

破產者熊本縣下益城郡守富村大字廻江七百六十九番地藤井卓ハ破產債權者ニ對スル債權全部ノ免責ヲ得タル旨ヲ以テ昭和十年一月二十九日復權ノ申立ヲ爲シタリ

昭和十年一月三十日　熊本區裁判所

◎行旅死亡人

本籍氏名不詳推定年齡五十歳位乞食風男人相一著衣不詳特徵出齒ニシテ齒列不正上顎左第二、三臼齒及上顎右臼齒全部ナシ携帶品ナシ

右本月二十四日午後三時三十分頃當區加茂川筋夷川橋東詰橋下洞穴內ニテ燒死體ト爲リテ發見死後約三四十分經過翌日火葬ニ付ス心當リノ者ハ申出テラレタシ

昭和十年一月二十六日　京都市左京區役所

本籍住所氏名不詳二十三歳位ノ男身幹五尺二寸位圓顏散髮縱縞ノ袷角帶サージ前垂メリヤスシャツ上下著用携帶品八圓四錢在中財布一木原ト彫刻アル丸木印一腕卷時計一革手袋一

右本月二十七日區內東海道線東山隧道上リ線入口ヨリ二町ノ處ニ乘降リ自殺體發見火葬ニ付ス

昭和十年一月三十一日　京都市東山區役所

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
●加奈陀、米國、南米等行				
二、九後三、〇	二、九後二、三〇	二、九前一〇、一五	横濱	プレシデント、グラント號
●南支那、香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行				
同一二七前九	同一二前八半	同九後四	門司	はばな丸
同一三前九	同一三前八半	同一〇後三	同	ぼるねを丸
同一五後七半	同一五後七	同一四後四	神戶	ぶえのすあいれす丸
●蘭領東印度行				
同一二後七半	同一二後七	同一二前一〇、一五	同	まるた丸
同一三後一〇	同一三後九半	同一三後四	同	チレボート號
●香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行				
—	—	同一〇後三	横濱	北野丸
●布哇、米國、加奈陀、南米等行				
二、一四後零一〇	二、一四前一一、三〇	同一四前一〇、一五	同	秩父丸

(備考)　はばな丸及ぼるねを丸ノ小包ハ神戶局逕トス

株式失權公告

左ノ名義株式ハ商法第百五十三條第一項ニヨリ失權ト相成候間此段公告候也

島根縣簸川郡今市町六八〇森山善太郎壹株券甲貳〇壹貳號乃至貳〇壹八號拾株券乙七九壹參號五拾株券丙壹四參七號乃至壹五七〇號廣島市千田町六四六ノ參共心會代表國光和喜拾株券乙七八〇四號乃至七八七參號大阪市東區北濱貳丁目越ヶ谷商店方眞川貫一拾株券乙六八八六號乃至六九參五號埼玉縣川越市新田町一四六〇庄榮一拾株券乙五七六號五七八號九〇壹號壹貳貳四號壹六壹八號乃至壹六貳〇號六五五七號壹七六六號乃至壹七六九號壹七七壹號乃至壹七七參號貳〇七〇號貳貳貳貳號參四七四號參四七五號四參七七號四九六參號五參貳九號乃至五參參壹號五參參六號五參參七號六六〇九號六六壹〇號七六四八號七六四九號七六六四號七六五五號七六七參號五拾株券丙七七參號仙臺市靈屋下七大河內新八方戸島芳雄五拾株券丙壹〇參貳號乃至壹〇參七號東京市小石川區東青柳町二五塚田要藏五拾株券丙四四八號四四九號神奈川縣中郡北秦野村横野七三三今井嘉甫郎拾株券乙參〇六號八七四號貳壹八五號貳壹八六號五壹九貳號五拾株券丙參五六號

昭和拾年貳月貳日

東京市麴町區丸ノ內參丁目六番地

大社宮島鐵道株式會社

横濱市公債繰上償還公告

昭和拾年參月拾五日左記公債全額ヲ繰上償還ス

昭和十年二月八日　横濱市長　大西一郎

公債名	端數利子 百円券	端數利子 壹千円券	端數利子 五千円券	支拂場所
横濱市第三回事業公債や號 同第十回事業公債て號 同第二回整理公債あ號 同瓦斯事業第四公債し號	〇、五七	五、七五	二八、七五	共同證券株式會社及株式會社横濱興信銀行本支店
同第五回事業公債ま號 同第一回都市計畫事業公債け號 同第八回事業公債さ號	〇、五七	五、七五	二八、七五	山一、藤本ビルブローカー、小池、野村、日興各證券會社本支店及株式會社横濱興信銀行本支店
同第六回事業公債な號	〇、六三	六、三三	三一、六四	三井、三菱、安田、住友、鴻池各信託株式會社本支店及株式會社安田銀行横濱支店
同第十一回事業公債ぬ號	一、七九	一七、九二	八九、六〇	山一證券株式會社本支店及株式會社横濱興信銀行本支店
同第十二回事業公債短期公債よ號	一、五九	一五、九七		三井信託株式會社本支店

但シ右ノ內各證券會社ニ於ケル取扱期間ハ支拂期日ヨリ向フ一ヶ月間トス

生徒募集

麻布獸醫專門學校

一、募集　第一學年約百五十名

一、出願　一月十日ヨリ四月三日迄

一、銓衡　無試問檢定（出身學校長推薦者）試問檢定（四月四日午前九時本校ニ於テ開始）

一、資格　中學校甲種實業學校卒業以上

麻布獸醫畜産學校

一、募集　本科第一學年、蹄鐵工科

一、出願　一月十五日ヨリ四月五日迄

一、銓衡　（有資格者ニ對シ出身學校學業成績ヲ銓考シ願順ニ由リ入學ヲ許可ス）

一、資格　本科　高等小學校卒業、中學二年終了以上　蹄鐵工科　尋常小學校卒業以上

（規則書要郵券二錢）

東京市麻布區新堀町

（電話高輪四九三二番）

第六十六期營業報告

貸借對照表（昭和九年十二月卅一日現在）

負債之部	金額
資本金	五〇、〇〇〇、〇〇〇.〇〇
損失補塡準備金	一七、四七四、七九七.五〇
配當平均準備金	四、〇九〇、八〇〇.〇〇
別途積立金	[illegible]
配當金	七一、三六八.一四
債券發行高	[illegible]
定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
特別當座預金	[illegible]
通知預金	[illegible]
別段預金	[illegible]
證券募集金	[illegible]
受入基金	[illegible]
貸出內入金	[illegible]
別途貸見返	[illegible]
賣爲替	[illegible]
未拂債券利金	[illegible]
他店ヨリ借	[illegible]
假受金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

資産之部	金額
定期貸	[illegible]
當座貸	[illegible]
割引手形	[illegible]
コールローン	[illegible]
別途貸	[illegible]
當座預ケ金	[illegible]
別段預ケ金	[illegible]
債券價格較差	[illegible]
未經過債券割引料	三九、一五〇.〇〇
國債證券	[illegible]
地方債證券	[illegible]
株券及社債券	[illegible]
外國國債及證券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
代理店支拂基金	[illegible]
營業用地所家屋	[illegible]
營業用什器	[illegible]
債權執行取得物件	[illegible]
新築費	[illegible]
假拂金	[illegible]
金銀勘定	[illegible]
合計	[illegible]

利益金分配	金額
當期利益金	[illegible]
損失補塡準備金	四〇〇、〇〇〇.〇〇
配當平均準備金	一〇〇、〇〇〇.〇〇
第一配當金（年五分）	一、二五〇、〇〇〇.〇〇
重役賞與金	[illegible]
第二配當金（年一分）	二五〇、〇〇〇.〇〇
後期繰越金	[illegible]

昭和十年二月

株式會社日本興業銀行

總裁　結城豐太郎

理事　寶來市松

理事　公森太郎

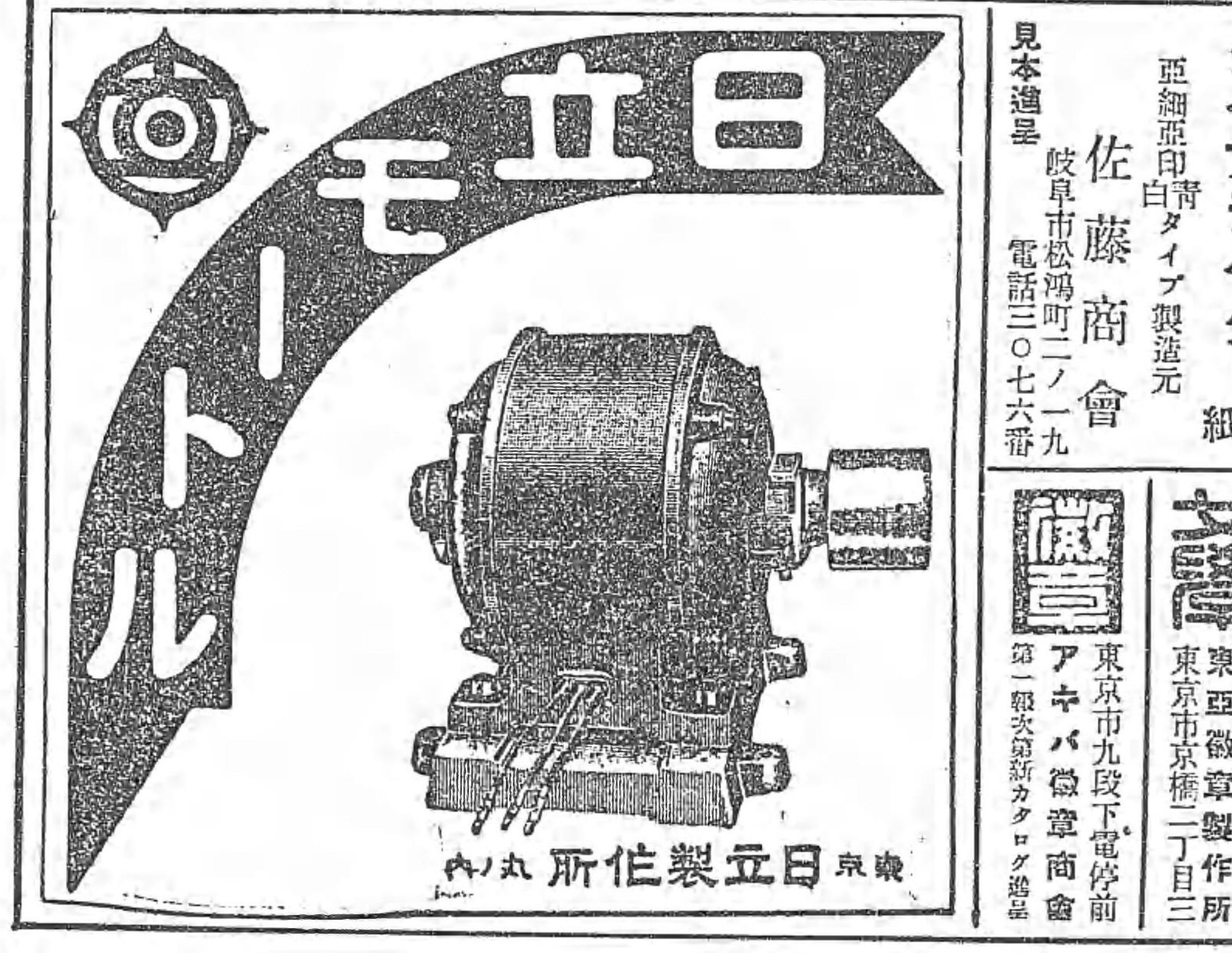
理事　河上弘一

理事　小竹茂

理事　岩佐理藏

監査役　田中直一

監査役　伯爵　二荒芳德



日立モートル
東京 日立製作所 丸ノ內

タイプライター原紙

亞細亞印 青 白 タイプ製造元

佐藤商會

岐阜市松鳴町二ノ一九

電話三〇七六番

見本進呈

徽章

校徽章マークメダル

東亞徽章製作所

東京市京橋二丁目三

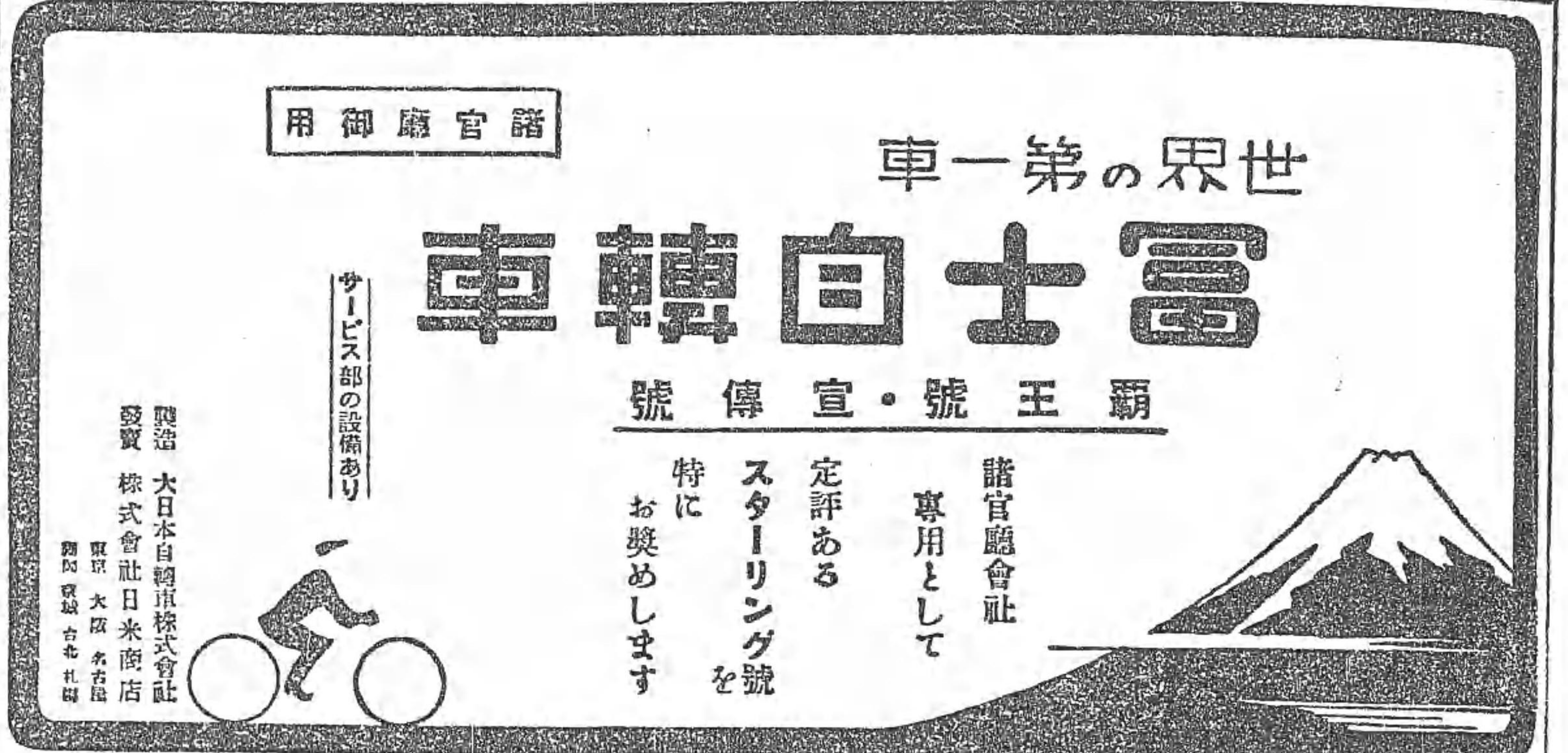
徽章

東京市九段下電停前

アキバ徽章商會

第一報次第新カタログ進呈

矢野
カタログ進呈
テント
矢野テント商會
大阪 西区日吉橋北
東京 京橋海事局前



諸官廳御用
世界の第一車
富士自轉車
覇王號・宣傳號
諸官廳會社專用として定評あるスターリング號を特にお奬めします
サービス部の設備あり
製造 大日本自轉車株式會社
發賣 株式會社日米商店
東京 大阪 名古屋 福岡 京城 台北 札幌

資本金　壹千萬圓

諸積立金　參百七拾七萬圓

火災、海上、運送各保險

代理店　內外國　三千餘

東京市京橋區京橋二丁目二番地

千代田火災保險株式會社

電話京橋（56）五五三一番・四番：五五三二番・五番：五五三三番・六番

取締役社長　門野幾之進

取締役　角利一

取締役伯爵　樺山愛輔

取締役男爵　岩倉道倶

取締役　松原重榮

監査役　赤星鐵馬

取締役男爵　益田太郎

監査役　福澤大四郎

取締役　成瀬正行

監査役　山名次郎

取締役　近檣內

支店

大阪　東區今橋二ノ一九（電話本局五九五〇番）

京都　中京區烏丸通六角下ル（電話本局七七八番）

横濱　中區辨天通六ノ八一（電話本局二三二一番）

神戸　神戸區榮町通二ノ四〇（電話三宮一七六九番）

名古屋　中區南大津町一ノ一〇（電話中五〇二番）

仙臺　大町二ノ一四八（電話七九八番）

福岡　橋口町四六（電話一三三五番）

札幌　大通西六ノ一〇（電話一三五二番）

京城　南大門通二ノ一〇（電話一三二九番）

避雷針

大阪市西區立賣堀北通三丁目

鈴木深藏商店

電話長新町一四八〇番

資本減少公告

當會社ハ昭和十年二月五日臨時總會ニ於テ資本金五萬圓ヲ貳萬五千圓ニ減少ノ件決議致候ニ付異議アル債權者ハ來ル昭和十年四月十五日迄ニ其旨御申出相成度商法ノ規定ニ依リ此段公告候也

株券提供公告

當會社ハ昭和十年二月五日臨時株主總會ニ於テ資本金五萬圓ヲ貳萬五千圓ニ減少シ其ノ方法トシテ株式貳株ヲ壹株ニ併合ノ事ニ決議仕候就テハ來ル昭和十年五月十五日迄ニ御所有株券全部當會社ヘ御提供相成度若シ同期間內ニ右御提供無之節ハ株主タル權利ヲ失ハル、モノト御承知相成度商法ノ規定ニ依リ此段公告候也

昭和十年二月八日

東京市神田區鎌倉町四番地ノ二

昭榮商事株式會社

株主各位

謄寫版界之覇王（創業明治三十三年）

岡田式特許謄寫版

超耐久カミヨ複寫紙

岡田謄寫堂本店

鳥取市片原町三丁目　電話長六一〇番

支店
●東京
●大阪
●京城

東京市神田區神保町一丁目五五

岡田謄寫堂東京本店

電話神田二四四五番　振替東京六八七四〇番

第2429号　本文

第2429号 本文

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

顧問　文學博士 上田萬年　文學博士 辻善之助
文學博士 市村瓚次郎　法學博士 尾佐竹猛

昭和九年第十二輯（十二月分採錄）出來

月刊 時代文化記錄集成

一ケ月	￥.50
半ケ年	￥2.85
一ケ年	￥5 40

唯一の全國新聞の綜合スクラップ・ブック ☆每月一回十五日發行

好評嘖々！將來に殘る無二の詳細な記錄！

全國新聞の總縮版とも云ふべきもので、每日多くの新聞の重要記事を宮廷、政治・法律、產業・經濟、軍事・國防、國際・外交、社會、教育、宗教、學術、文化、思想、文藝・美術、運動・競技、人事、奇聞の十五部門に分ち採錄編輯し、之に每月の世相及び文化推移の梗概と精細なる日誌暨月次年表竝に右採錄以外の主要記事目錄とを附し、**前月分のものを翌月十五日に月刊として發行す。**

法學博士 尾佐竹猛序　本會編輯主任 石田文四郎編〔最新版〕

新聞雜誌に現れた 明治時代文化記錄集成

前編（自慶應四年至明治二十年）

菊版索引共580餘頁上質紙
印刷高尚　原色版寫眞版15葉
定價￥3.50　送料￥.22

待望の書愈々出づ!! 見よ！比類なき史料の精選と正確さを!!

本書は慶應四年より明治二十年に至る迄の、各新聞雜誌に現れた文化記錄を編年體に集大成し、略註を施し、索引を附したものであつて、實に編者多年の精進努力に依つて成れるもの、而も、その特色とする處は、その取捨選擇の最も忠實嚴密であつて、能く明治文化の全貌を展望し得る、眞に無二の生きた明治の文化史である

黎明日本の眞の姿・原本に據る嚴密なる採錄・明治史料調査研究の寶庫・一般人士の好讀物

御申越次第內容見本進呈

發行所　東京市神田區錦町三ノ二四　電話神田三五〇九番　振替東京七八二五七番　時代文化研究會

取次店　東京 淺見文林堂　名古屋 川瀨書店　大阪 柳原書店

內閣統計局編纂

第五十三回 日本帝國統計年鑑

四六二倍判五二三頁美裝解說及統計圖入　價貳圓參拾錢　外送料實費

我國に於ける各般の事象を收載した唯一の綜合統計

東京銀座西三ノ一　東京統計協會發行　丸善本支店發賣

第七回決算報告

（昭和九年十二月廿九日現在）

貸方（負債之部）	円
資本金	一五〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	二、五〇〇・〇〇
荷爲替未拂金	九四、五二六・〇〇
假入金	九三六・九三
前期繰越金	五七七・一〇
當期利益金	四、八〇七・八二
合計	二五三、三四八・一五
借方（資產之部）	円
有價證券	一五、三五〇・〇〇
定期預金	一〇一、〇〇〇・〇〇
銀行預金	三九、九〇二・五一
現金	二、七九八・二一
商品	二九、六七〇・五一
賣掛金	三〇、四七三・六六
受取手形	三、〇〇〇・〇〇
什器	二〇〇・〇〇
醵出金	二五三、三四八・一五

右之通リ候也
昭和十年二月
株式會社 後藤一郎商店

公告

一、本行株式壹拾株 結城義雄名義
此株券種類記番號
五株券 乙第貳八七貳號
壹株券 甲（自第參七壹六號 至第參七貳〇號）
右株券燒失ノ旨昭和九年拾貳月拾九日屆出アリタルニ付本公告ノ日ヨリ壹ケ月以內ニ異議申立ナキトキハ之ヲ無效トス
昭和拾年貳月八日
株式會社 日本興業銀行

日本テント
天幕・雨覆・日覆製造販賣
日本テント商會
貸テント裝飾貨物段マス
大阪南安治川淀べり渡
電話西六九二番

ベルト及綴金具
紡織機械用品
諸機械工具

東京銀座二ノ二
合名會社 勝山商會
電京(56)一八四五番 七〇五七番

宮武テント

卒業記念特價提供

恒例により本年度卒業期の特價提供を始めます
卒業生より母校へ贈る記念品としてテントは最も意義深きものと存じます

（校名記入御申越に限り特價カタログ送呈）

天幕雨覆製造販賣
大阪安治川・電西九五五・九六五
宮武テント商行
裝飾と貨物貸テント

定價　一ケ月 九十五錢　一圓八十錢（外國郵便ニ依ル地域）
一部 五錢　八錢　各送料共
廣告料　本公告 六號一行 三十錢
一般廣告 六號十四字詰一行 二十五錢　五號五錢四號十錢增
發行所　東京市麴町區大手町　內閣印刷局
電話丸ノ內三五一九　振替東京一九〇〇〇　官報課

（本書ノ大サハ國定規格Ａ４判）